SATSUKI®

インタラクティブディスプレイ

M65CE2S

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全に正しくご使用いただくために、
お使いになる前に必ずこの「取扱説明書」および本書記載の「安全上のご注意」をよくお読みになり、十分にご理解ください。
また、お読みになった後は保証書とあわせて大切に保管してください。

目次

安全上のご注意 4
ご使用上の注意 6
付属品を確認する 8
各部の名称と働き 9
正面 **9**
側面 **10**
背面 **11**
設置について 12
設置条件 **12**
スタンドについて **12**
リモコンの準備と操作 13
電池を入れる **13**
リモコンで操作できる範囲 **13**
リモコン操作 **14**
機器を接続する 15
PCの画面を本機で表示する（映像・音声入力） **15**
HDMI接続する場合 15
VGA、音声ケーブル接続の場合 15
接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力） **16**
HDMI ／ AV接続する場合 16
本機の音声を他の機器で再生する（音声出力） **16**
本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合 16
本機の画面をサブモニターなどで表示する（映像出力） **17**
本機内蔵Android画面、AV IN/VGA/HDMI入力画面を出力する場合 17
本機をPCから制御する（シリアル制御） **17**
ネットワーク接続する 18
Wi-Fi接続 **18**
LANケーブルの接続 **18**
電源を接続する 19
電源の入／切 19
スタンバイモード 19
タッチ操作 20
基本的な操作方法 21
ホーム画面 **21**
クイック設定メニュー **22**
表示方法 22
映像入力している機器の映像を表示する 22
サイドメニューを表示する **23**
ポップアップメニューを表示する **25**

アプリ一覧画面を開く 26
ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE） 27
描く、消す 29
選択モード 29
消しゴムモード 29
2人同時書き込みモード 30
ファイルを参照する（Finder） 31
サーバーへの接続方法 32
ウェブページを見る（ブラウザ） 33
USBカメラを使う（カメラ） 34
アンチウイルス機能（Dr.Web Security Space） 36
ワイヤレスミラーリングソフト（ScreenSharePro） 37
画面を切り換える 39
Air Class機能 40
設定する 44
クイック設定 44
起動方法 44
全般設定 44
画面・音の設定 45
詳細設定 46
無線とネットワーク 46
共有する 48
端末 48
ユーザー設定 49
システム 50
故障かなと思ったら 51
正常に動作しない 51
映像入力した機器の画面がうまく表示されない 51
音が出ない 51
タッチ操作がうまくできない 52
お手入れ方法 53
長期間使用しない場合 53
仕様 54
アフターサービス 56
製品の保証について 56
修理を依頼されるとき 56

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の意味

⚠ 警告	人が死亡または重傷に結びつくことが想定される内容です。
⚠ 注意	人が損害を負う可能性がある、または家屋・家財などの損害に結びつくことが想定される内容です。

記号は次の意味を表しています。

してはいけないこと　必ずすること

気をつけること

⚠ 警告

使用中に以下のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる

- 煙が出ていたり、においがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 本機を落としたり、本機が破損したとき

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。使用を続けると、火災、やけど、感電の原因になります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

正しい電源電圧で使用する

指定以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。

分解や改造をしたり、カバーを外さない

火災や感電の原因になります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

内部に異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因になります。

電源プラグや電源コードが破損するようなことはしない

加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、熱器具に近づけたり、家具などの重いものをのせないでください。傷んだものを使用すると、火災や感電の原因になります。

本機を定期的に清掃する

お手入れには乾いた柔らかい布のみ使用してください。

電源プラグや端子は、ときどき乾いた綿棒などで掃除する

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下となり、火災の原因になります。

端子部分は汚れていると接触不良になり、動作不良になる場合があります。

また、掃除する際は、破損しないよう十分にご注意ください。

雷が鳴り出したら、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因になります。

本機に水、湯気をかけない

本機は防水 / 防塵性を有しておりません。コーヒー湯沸かし器、電気ポット等の近くや調理場で使用しないでください。水滴、湯気が内部に入り、内部部品が腐食し、感電や故障の原因になります。

風呂場など水のかかる場所や雨に当たる場所には置かない

火災や感電の原因になります。

アースを必ず接続する

アースを接続しないで使用すると、火災や感電の原因になります。

スタンドは当社指定のものを使用する

当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。

壁掛けで使用する際は、十分な強度の金具を使用し、壁の補強をする。また、壁掛けの際には専門業者に依頼する。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って引き抜く

コードに傷がつき、火災や感電の原因になることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグや電源コードに異常があるときは、使用をやめる

以下のような場合には、使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる
- コンセントに差し込んだときに電源プラグがゆるく、ぐらつく

熱器具のそばや直射日光のあたる場所には置かない

故障や発熱の原因になります。

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因になります。

禁止

本製品を屋外で使用しない

本製品は屋内専用です。屋外で使用すると、故障の原因になります。

禁止

本機に強い衝撃を与えない

倒れたり、液晶ディスプレイが割れてけがの原因になります。

禁止

横倒し、うつ伏せ、逆さまの状態で使用しない

発火や故障の原因になります。

禁止

本機の上に物を置いたり、乗っかったりしない

けがの原因になります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

指示

電池の取り扱いに注意する

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがの原因になります。以下の点を注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）をショートさせない
- 異なる種類どうしや新しい電池と使いかけの電池を混ぜて使用しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れたり、加熱しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出す

電池が液もれしたときは以下の指示に従ってください。

- 素手で液をさわらない。
- 液が体や衣服についたときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診察を受ける。

禁止

ディスプレイが破損した場合は、液晶を皮膚に近づけない

失明や皮膚に障害を起こす原因になります。
液晶が漏れて目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断を受けて下さい。

禁止

付属の電源コード以外は使用しない

火災や感電の原因になることがあります。

指示

電源プラグは容易にコンセントから抜くことができる状態で使用する

異常が起きたときに、すぐ電源プラグをコンセントから抜けるようにしてください。

指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、発熱したり、ほこりが付着して火災や感電の原因になります。

禁止

たこ足配線はしない

火災の原因になります。

禁止

通風口をふさがない

内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。

指示

通風口は定期的に掃除する

通風口がほこりなどでふさがると、発熱や発火・故障の原因になります。

禁止

画面を強く押したり、叩いたり、先のとがったもので押さない

液晶ディスプレイが破損し、けがの原因になります。

指示

本機を移動するときは、接続しているコードを外す

コードが破損したり、引っかかって倒れてけがの原因になります。

指示

お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災、やけど、感電の原因になります。

指示

アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなう
また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外す

ご使用上の注意

周囲環境

- 本機を使用するときは、周囲温度を0℃～ 40℃、湿度を10% ～ 90%の範囲内にしてください。この範囲外の温度や湿度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因になることがあります。
- エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- 風通しがよく、熱がこもらない場所でご使用ください。

電源を切るとき

- 本機は精密機器ですので、動作中に電源プラグをコンセントから抜いたりすると、故障の原因になります。必ず本体の電源をオフにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れするとき

- お手入れするときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 画面を強くこすったり、固い布で拭くと傷つくおそれがあります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることがあります。
- 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。

結露について

- 低温の場所から高温の場所に本機を移動したり、暖房を入れて室温が急激に上昇したときは、本機内部に結露が発生することがあります。このような場合は、十分に時間をおき、結露がなくなってから電源プラグにコンセントを差し込んでください。

電源ボタンについて

- 電源オン時に本機の前面にある電源ボタンを短く押すと、スタンバイモードになります。
  ディスプレイの表示はオフになりますが、機器は動作しています。電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源ボタンを長押ししてシャットダウンするか、主電源スイッチをオフ（〇）にしてください。

残像について

- 長時間同じ画面を表示させておくと、残像が生じることがありますが、故障ではありません。
  残像は時間の経過とともになくなりますが、長時間同じ画面を表示させるような使い方はなるべく避けてください。

電源プラグについて

- 付属電源コードの3ピンプラグが使用できない際には、「2ピン+アース線」変換プラグをご使用ください。その際、必ず接地接続してください。
  また、「2ピン+アース線」変換プラグをご使用の際には、電気用品安全法上の認証品であることをご確認ください。

免責事項

- 地震·雷·風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（本機にお客様が登録された情報やデータの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機にお客様が登録された情報やデータが、本機の故障や修理、その他の取り扱いなどにより万一消失した場合も、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は日本国内のネットワーク専用です。日本国外ではご使用になれません。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ウィルスソフトを入れても、すべてのウィルスには対応できません。
- アンチウィルス機能は有効化（アクティベーション）が必要になります。有効化を行う場合には弊社もしくは販売会社へお問い合わせください。
- アンチウィルス機能は別紙の使用許諾契約にもとづき使用が可能です。本電子黒板をご使用の前に使用許諾契約をお読みください。
- 長時間コンセントを抜いた状態にした場合、時計表示がずれる場合がございます。
  時計にずれが生じた場合には日付けと時刻の設定手順に従い再設定をお願いします。
- TV視聴機能は専用のチューナーが必要になります（別売）。また、共聴設備の環境によっては映像や音声に若干の遅れや映像の乱れが生じる場合があります。
- 弊社開発のアプリケーション以外のサードパーティ製のアプリケーションは開発会社のバージョンアップにより、仕様変更ならびに使用ができなくなる場合がございます。
- 弊社指定品以外の移動式スタンドや金具の使用による転倒・破損などによる故障や損害等は当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

知的財産（著作権・肖像権）について

- お客様が本機を利用してインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

Bluetooth ／無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 本端末は全てのBluetooth対応機器、無線LAN（WLAN）対応機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本端末はBluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetoothの標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。 Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面セキュリティの設定を行っていないときは、悪意のある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth、無線LAN（WLAN）機能を使用した通信時のデータや情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生している所で使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（電子レンジ使用時には特に影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（WLAN）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

本製品が使用する無線LAN（WLAN）のチャンネル

- 本製品は、2.4GHzの周波数帯において、1 ～ 13chの各チャンネルを利用できます。
- また、5GHzの周波数帯において、W52（36、40、44、48ch）、W53（52、56、60、64ch）およびW56（100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）の各チャンネルを利用できます。

IEEE802.11b/g/n		
IEEE802.11a/n/ac		
W52	W53	W56

2.4GHz帯ご使用上の注意事項

- 本端末のBluetooth機能および無線LAN（WLAN）機能は、2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する）、および特定小電力無線局（免許を要しない）、アマチュア無線局（免許を要しない）などの無線局（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1.本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、ご使用を中断して、電波干渉を避けてください。
3.その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

- Bluetooth機能が使用する周波数帯

2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/XX ：変調方式がFH-SSおよびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
■■■ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- 無線LAN（WLAN）機能が使用する周波数帯

2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF ：変調方式がDS-SS、OFDM方式であることを示します。
4 ：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

5GHz帯ご使用上の注意事項

- 本端末の無線LAN（WLAN）機能は、5GHz帯を使用します。
- 電波法の定めにより5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）の屋外利用は禁止されております。

注意

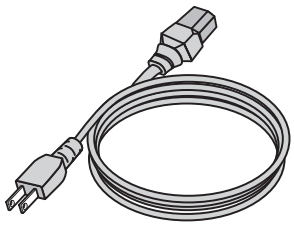
- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電波通信事業法に抵触します。**
- 本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が製品本体に表示されています。
- 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効になります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

付属品を確認する

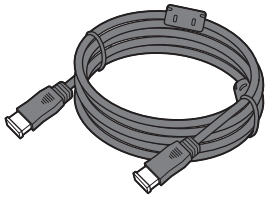
本製品には以下のものが付属します。
万一不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

リモコン×1
単4乾電池×2

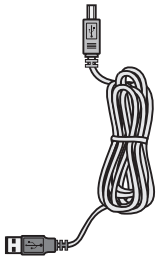
電源コード×1



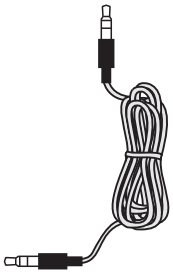
HDMIケーブル×1



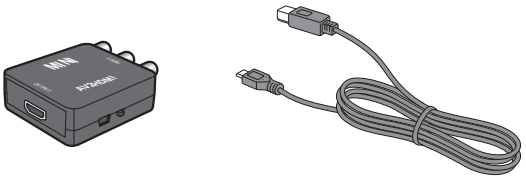
USBケーブル×1
（USB Bタイプー USB Aタイプ）



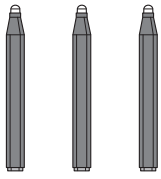
ヘッドフォンケーブル×1
（ステレオミニ端子）



AV BOX×1
（給電用USBケーブル付き）



タッチペン×3



保証書×1

取扱説明書（本書）×1

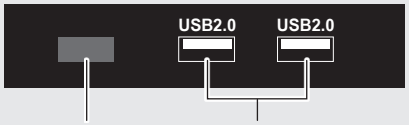
各部の名称と働き

正面

電源ボタン

短く押す	電源オン時：ディスプレイ表示が消え、スタンバイモードになります。もう一度押すと復帰します。 電源オフ時：電源をオンにします。（主電源がオンになっているとき）
長く押す	電源オン時：カウントダウンが開始され、0になるとシャットダウンします。

入力端子部

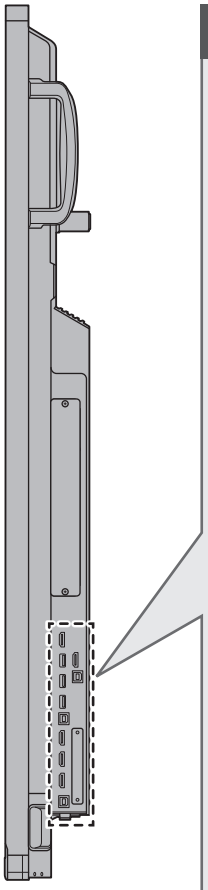


リモコン受光部
リモコンの信号受光部です。

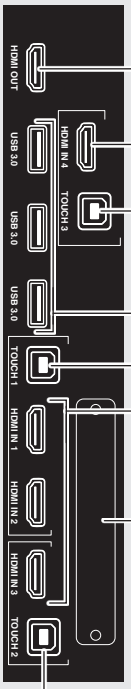
USB端子
接続すると、自動的にファイル形式を認識して、PCまたはAndroidどちらか最適な方へ接続されます。

各部の名称と働き（続き）

側面



本体端子部：この部分に接続した外部機器は本機内蔵のAndroidのみに有効です。



HDMI出力端子：
本機に表示している映像をサブモニターなどに出力します。

HDMI入力端子4：
HDMIケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。
「クイック設定メニュー」の「入力切り換え設定」で「HDMI1 ～ 4」を選択してください。HDMI接続では、音声も同時に入力します。

タッチ端子3（USB type B）：
付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。

USB3.0端子：
ハードディスクやキーボード、マウスなどのUSB機器を接続します。

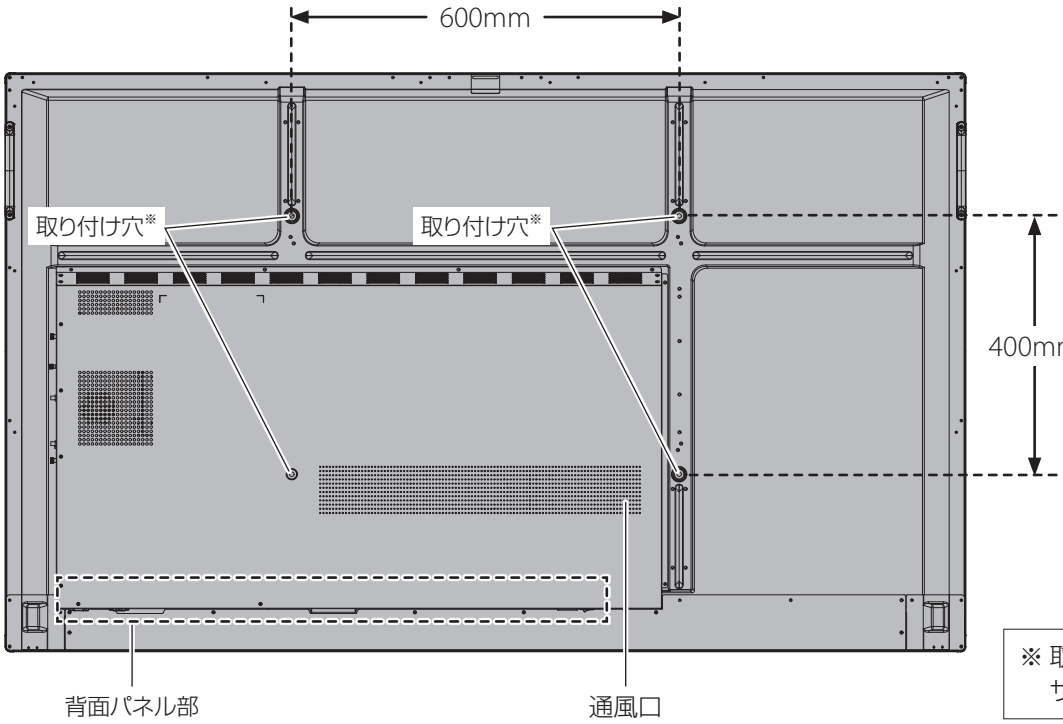
タッチ端子1（USB type B）：
付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。

HDMI入力端子1 ～ 3：
HDMIケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。
「クイック設定メニュー」の「入力切り換え設定」で「HDMI1 ～ 4」を選択してください。HDMI接続では、音声も同時に入力します。

内蔵スロット：
Wi-Fiスロットもしくは TVチューナースロットを入れることができます。

タッチ端子2（USB type B）：
付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。

背面

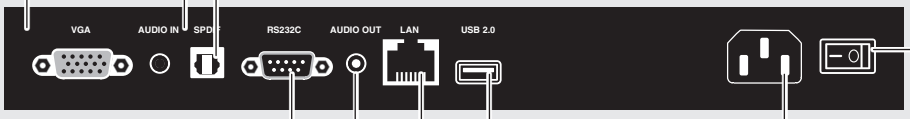


※ 取り付け穴用ネジの
サイズ : M8×25

背面端子部 : この部分に接続した外部機器は本機内蔵のAndroidのみに有効です。

VGA入力端子（ミニD-SUB15ピン）／音声入力端子（ステレオミニジャック）:
ディスプレイケーブル(別売)と付属のヘッドフォンケーブルを使ってPCなどを接続すると、接続した機器の画面と音声を本機で表示／再生できます。
「クイック設定メニュー」の「入力切り換え画面」で「VGA」を選択してください。

デジタル音声出力端子（S/P DIF）:
同軸デジタルケーブルで音声を出力します。



電源端子
電源ケーブルを接続します。

主電源スイッチ
主電源のオン/オフを切り換えます。
｜:オン　○:オフ

RS232C端子 :
本機をPCで制御するときに使用します。

オーディオ端子 :
ヘッドフォンやアクティブスピーカーを接続します。

USB2.0端子 :
ハードディスクやキーボード、マウスなどのUSB機器を接続します。

ネットワーク端子 :
LANケーブルを使ってネットワークに接続します。

設置について

注意

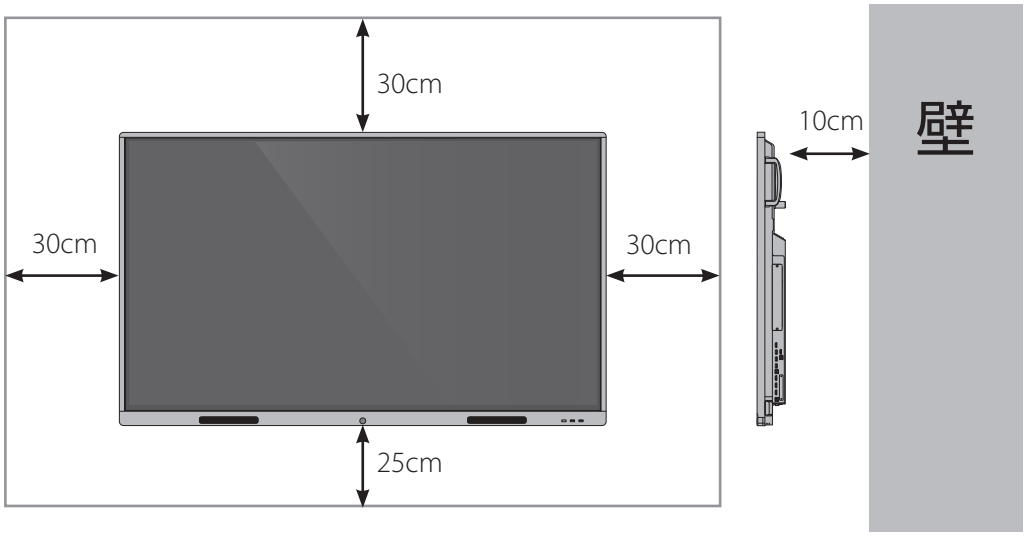
- 本機の設置や取りはずし、移動は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 設置・取りはずし・移動は、必ず4名以上でおこなってください。
  本体が落下してけがの原因になります。
- 本機を壁掛けしたり、天吊りにして使用する場合は、取り付け工事専門業社に依頼してください。取り付け、据え付けの不備による事故・損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 設置するときは、通風口をふさがないようご注意ください。内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。

設置条件

- 本製品は以下の環境でご使用ください。

周囲温度	0℃～ 40℃
周囲湿度	10 ～ 90%

- 雨や水しぶきが当たるおそれがあるところや湿度が高いところには設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- 熱がこもるのを防ぐため、周囲から以下の距離を離し、風通しの良い場所に設置してください。



スタンドについて

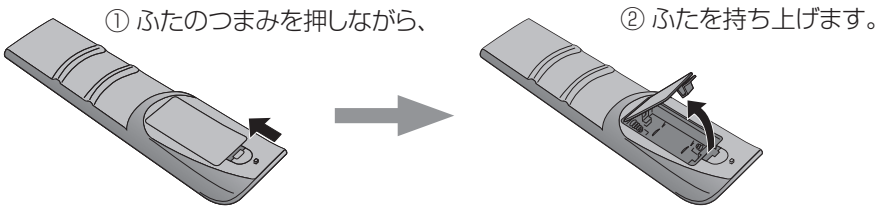
スタンドは当社指定のものをお使いください。
当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。

- 取り付け方法については、スタンド付属の説明書をご参照ください。
- 当社指定以外のスタンドを使って設置した場合に起こった製品の損傷や損害については、保証期間中であっても責任を負いかねますので、ご注意ください。

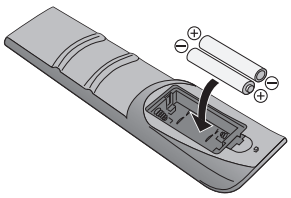
リモコンの準備と操作

電池を入れる

1. リモコン裏面のカバーを開けます。

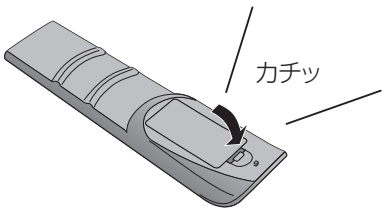


2. 付属の単4乾電池2本を入れます。



リモコン内部に記載している+ーの向き
通りに入れてください。

3. カバーを取り付け、カチッと音がするまで閉めます。

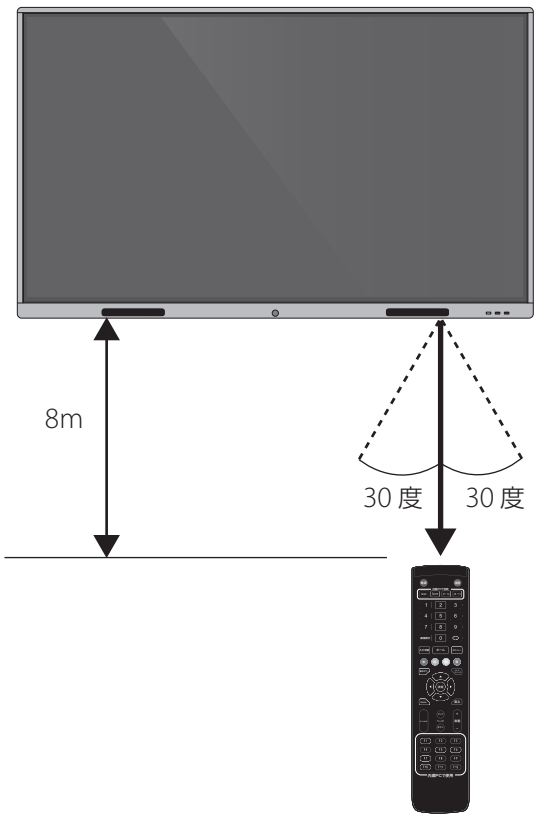


NOTE

- 付属の乾電池は保管状態により、短時間で消耗することがあります。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

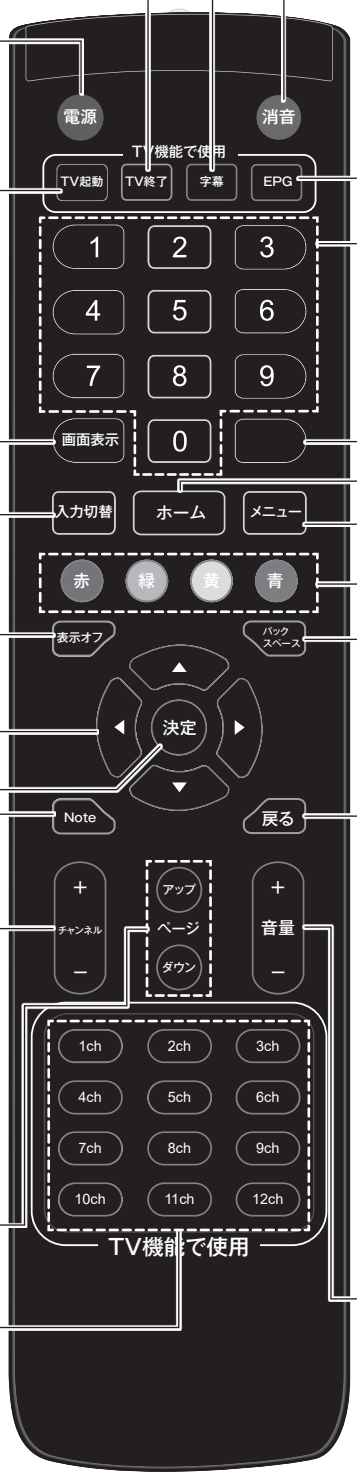
リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から8メートル以内で、上下左右30度の角度から操作可能です。



リモコンの準備と操作 (続き)

リモコン操作



TV終了ボタン
テレビ視聴アプリを終了します。※

電源ボタン
電源のオン・オフを切り換えます。

TV起動ボタン
テレビ視聴アプリを起動します。※

入力機器確認ボタン
現在画面に表示されている入力ソースの種類を表示します。

入力切替ボタン
入力ソース切り換え画面を表示します。

表示オフボタン
ディスプレイの表示をオフにします。

方向ボタン
カーソルキーを移動します。
Androidモード時は、マウスのカーソルを操作できます。

決定ボタン
ダイアログボックスなどで決定するときに押します。

ホワイトボードボタン
Androidモード時にホワイトボードソフトを起動します。

チャンネルボタン
テレビ機能のチャンネルを1つずつ移動します。※

ページアップ／ダウンボタン
ページを上下にスクロールします。

チャンネルボタン
テレビ機能のチャンネルを切り替えます。※

字幕ON /OFFボタン
字幕放送の有効/無効を切り替えます。※

消音ボタン
音量を0にします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

EPG画面表示ボタン
EPG画面を表示します。※

数字ボタン
数字を入力します。

本機では使用しません。

ホームボタン
ホーム画面を表示します。

画質調整メニューボタン
PCモードや映像入力している機器を表示しているときに画質調整メニューを表示します。

ファンクションボタン
赤：画面のタッチおよびフロントスイッチの操作の有効/無効を切り替えます。
緑：フロントスイッチの操作の有効/無効を切り替えます。
黄：画面タッチの操作の有効/無効を切り替えます。
青：画面の拡大／縮小操作ができるようになります（操作中は、タッチ操作が無効になります）。

バックスペースボタン

戻るボタン

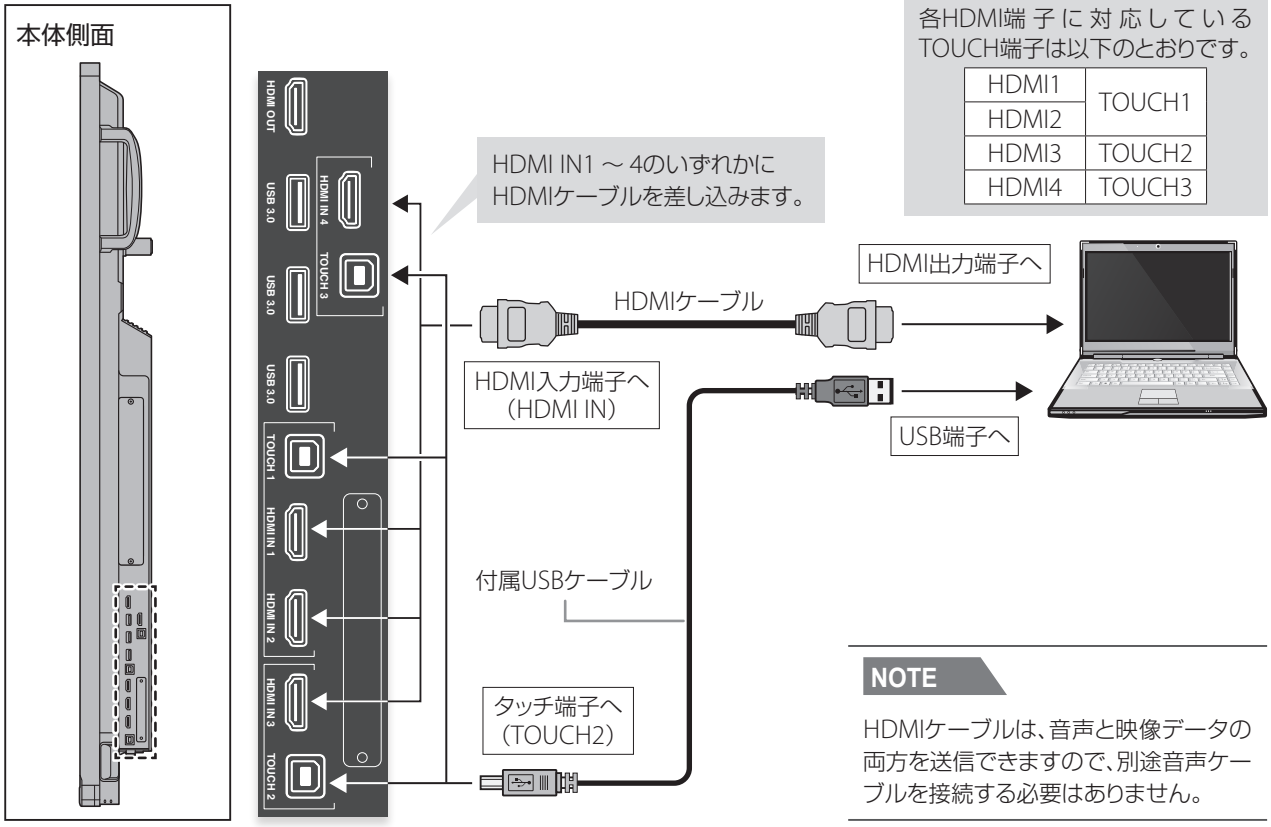
音量ボタン

※ TV視聴アプリでのみ使用

機器を接続する

PCの画面を本機で表示する（映像・音声入力）

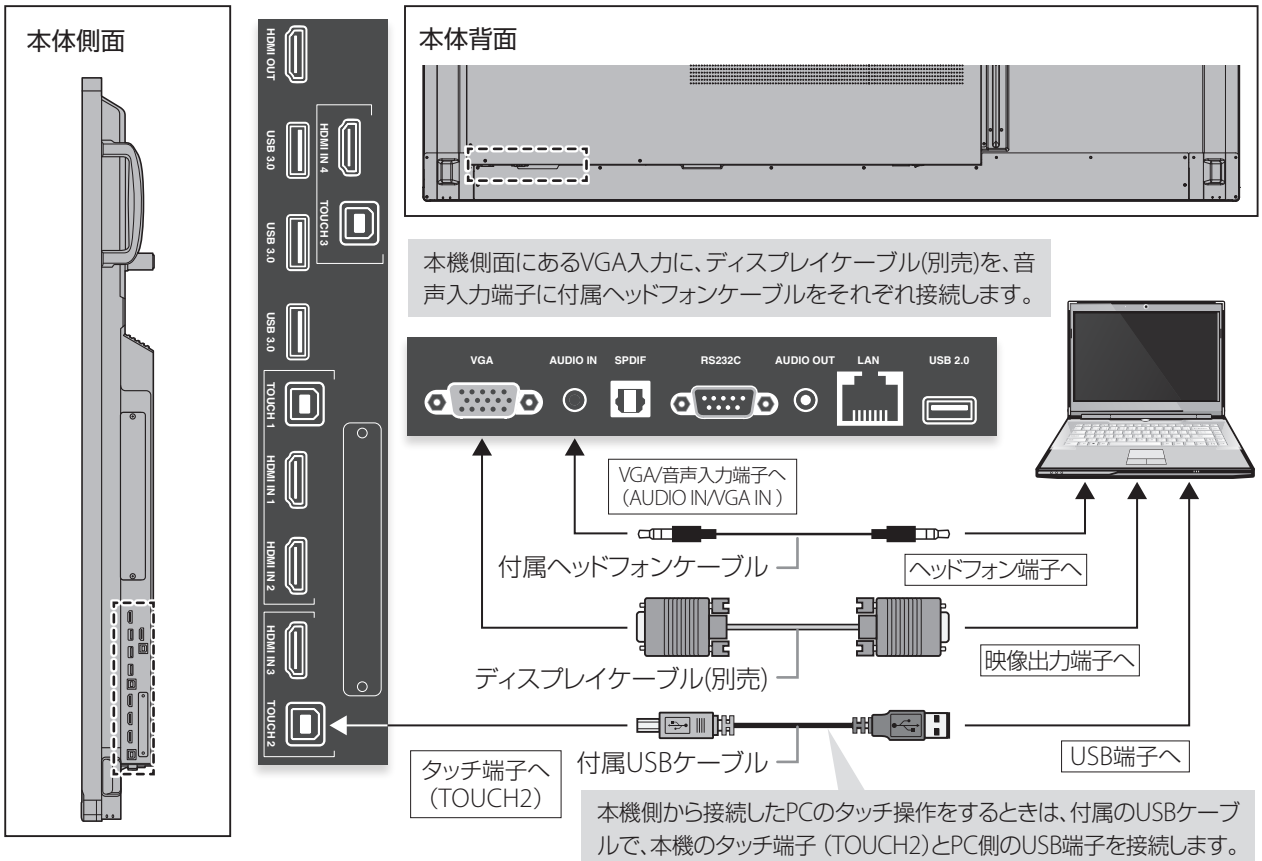
HDMI接続する場合



NOTE

HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

VGA、音声ケーブル接続の場合



機器を接続する（続き）

NOTE

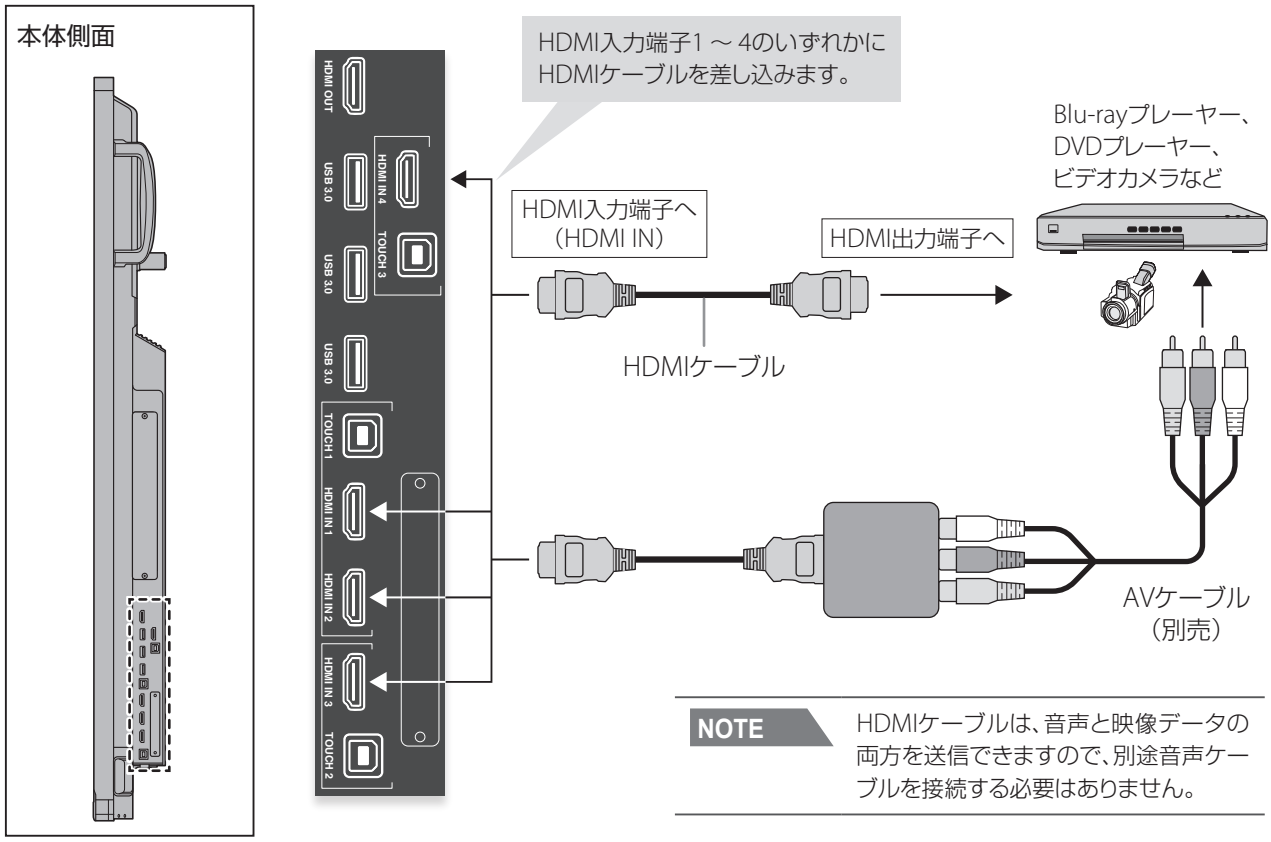
● 本機に接続するPCの推奨スペックは以下のとおりです。
- メモリ：1GB以上
- CPU：2.0 GHz以上
- ハードディスクの空き容量：1GB以上
- 256色以上のディスプレイカードを搭載

タッチ操作用のドライバインストールについて

本機の電源がオンになっているときに、USBケーブルをPCに接続すると、自動的にドライバのインストールがおこなわれます。

接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力）

HDMI ／ AV接続する場合

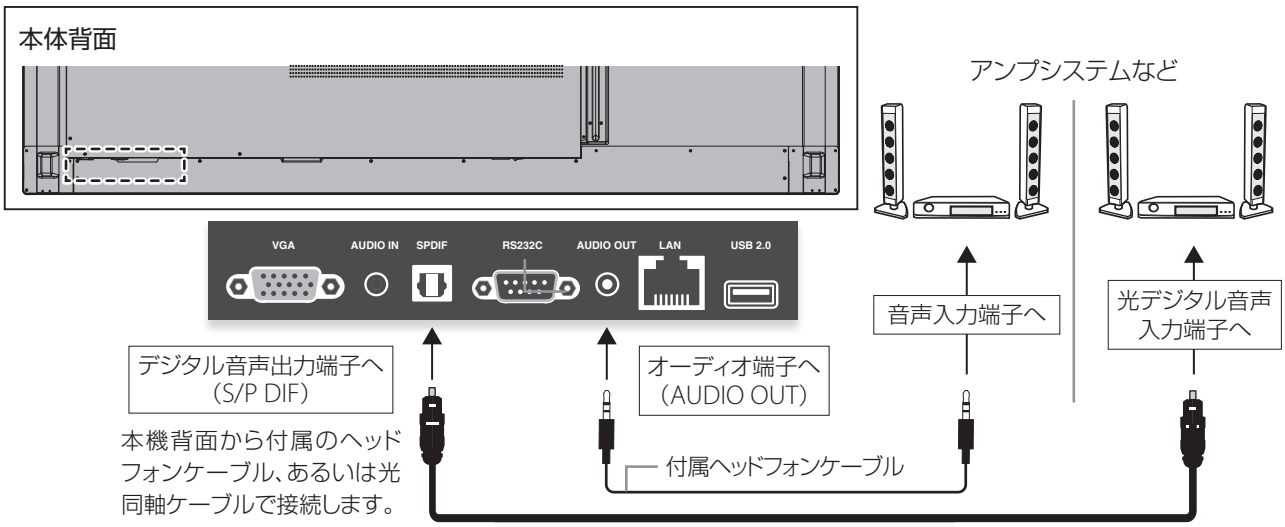


NOTE

HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

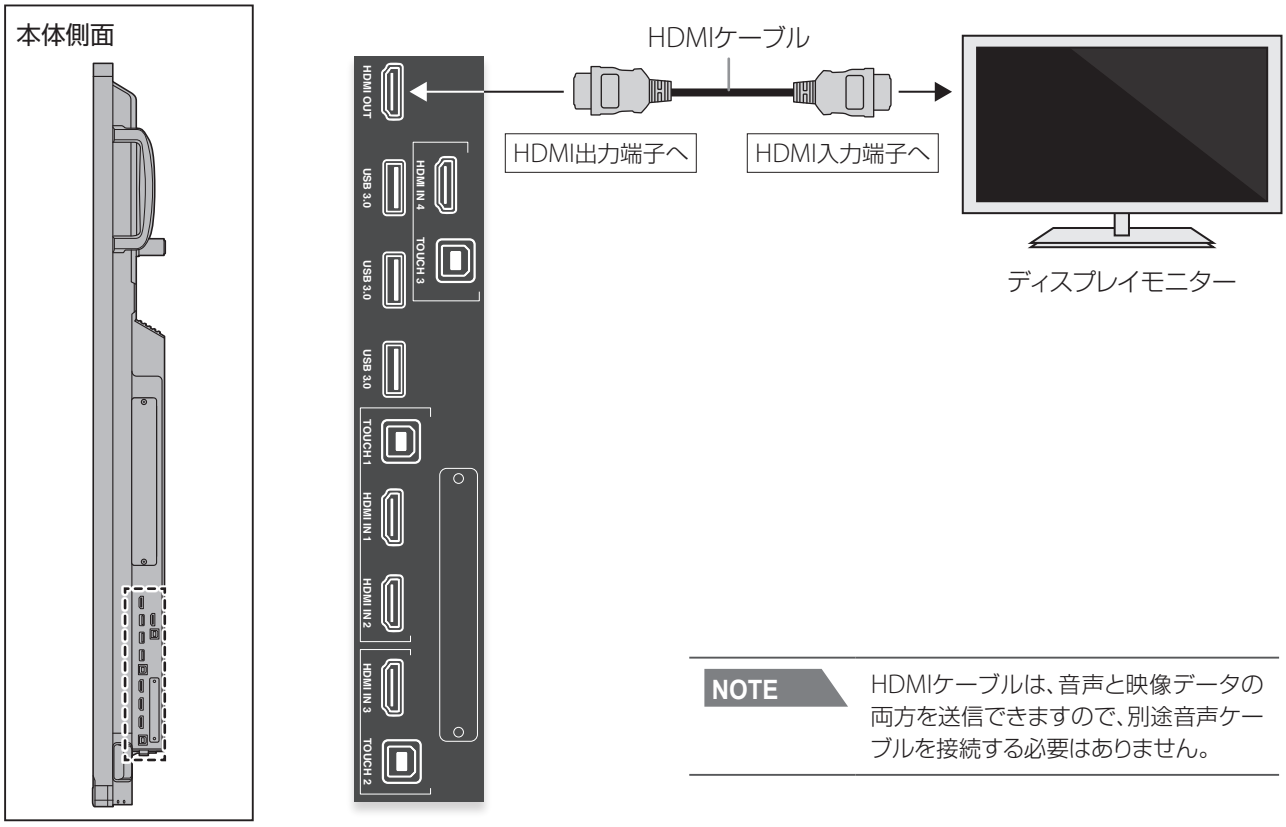
本機の音声を他の機器で再生する（音声出力）

本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合



本機の画面をサブモニターなどで表示する（映像出力）

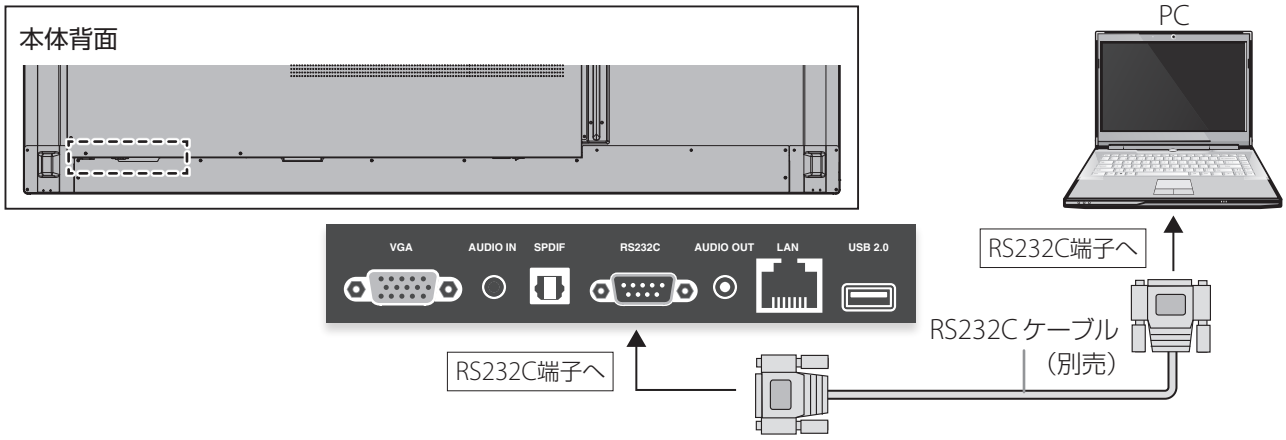
本機内蔵Android画面、AV IN/VGA/HDMI入力画面を出力する場合



NOTE HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

本機をPCから制御する（シリアル制御）

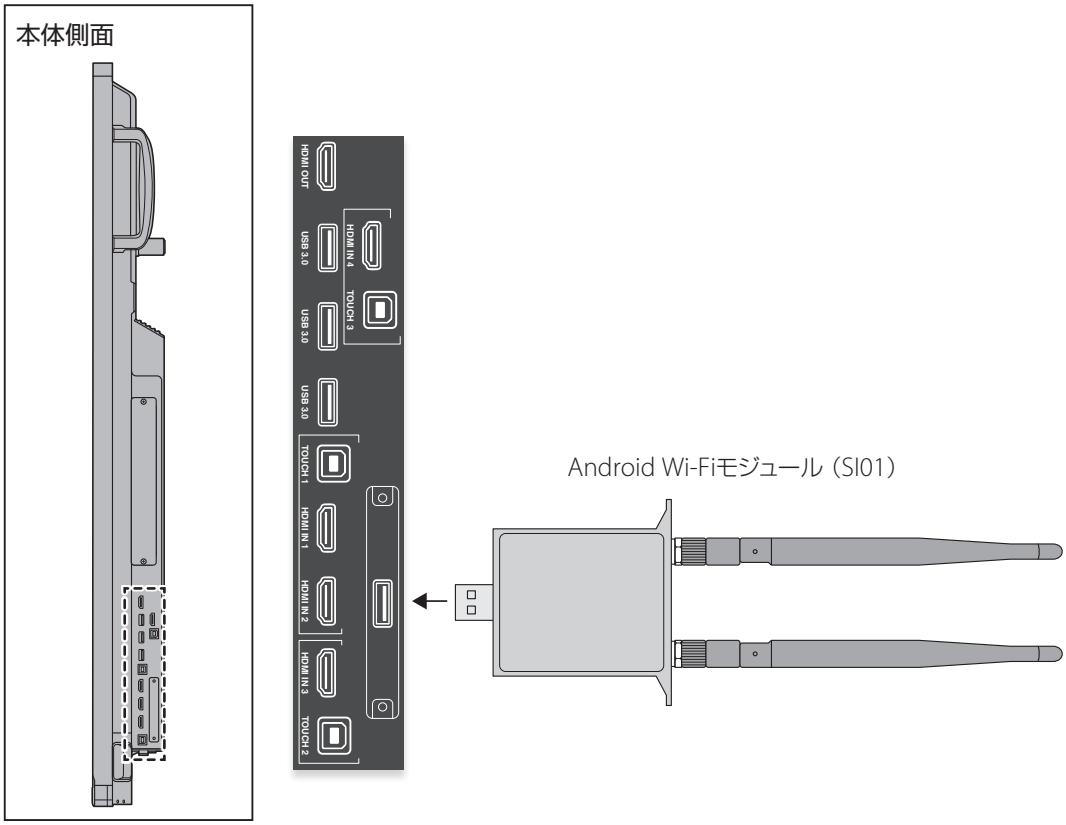
本機のシリアル端子とPCを接続すると、PCから本機の一部の機能（電源オン／オフ、音量調節など）を制御することができます。



ネットワーク接続する

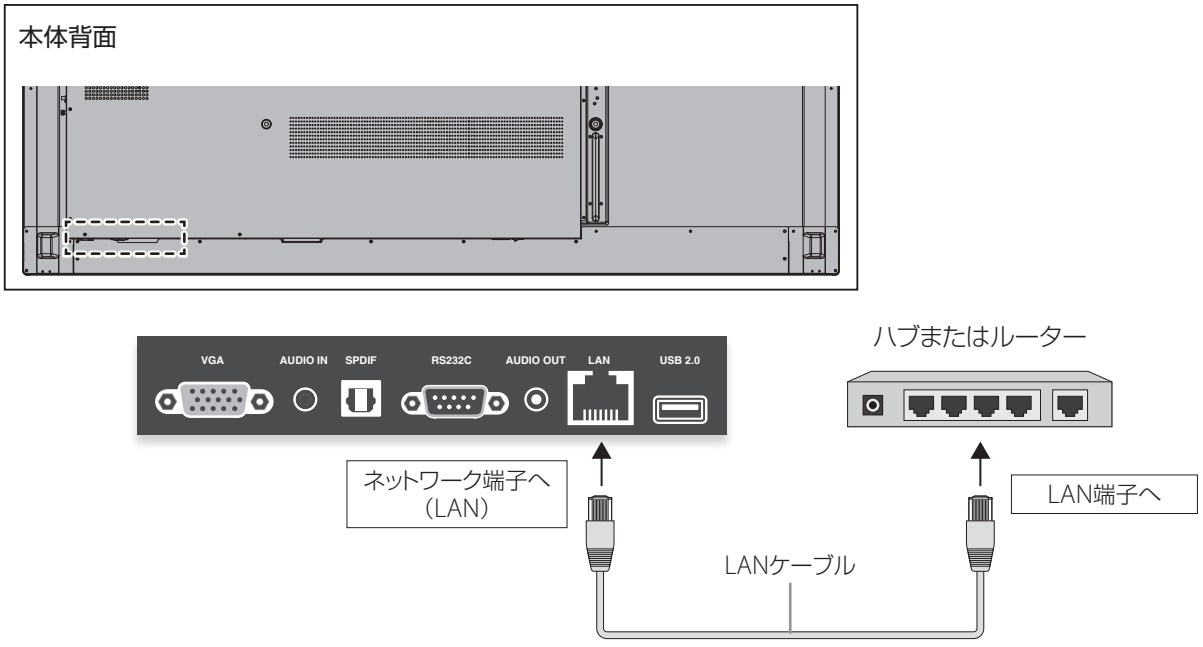
Wi-Fi接続

本製品はWi-Fi接続が可能です。
AndroidのWi-Fi接続にはオプションのAndroid Wi-Fiモジュール（SI01）が必要になります。
以下のように本機側面に取り付けてください。



LANケーブルの接続

本機背面のネットワーク端子とハブまたはルーターのLAN端子をLANケーブル（別売り）で接続します。
ネットワーク設定は「詳細設定」の「ネットワーク設定」で設定します。
ネットワークの設定内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。

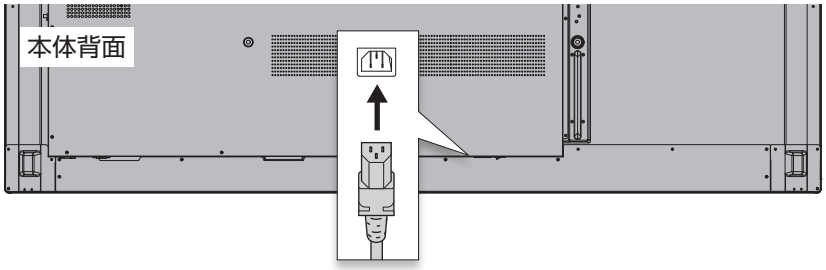


電源を接続する

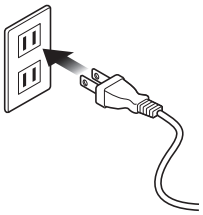
注意

- 電源コードは必ず本機付属のものをご使用ください。
- アースは必ず接続してください。
- アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなってください。
  また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してください。

1. 付属の電源コードを電源端子に差し込みます。



2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源の入／切

電源を入れる

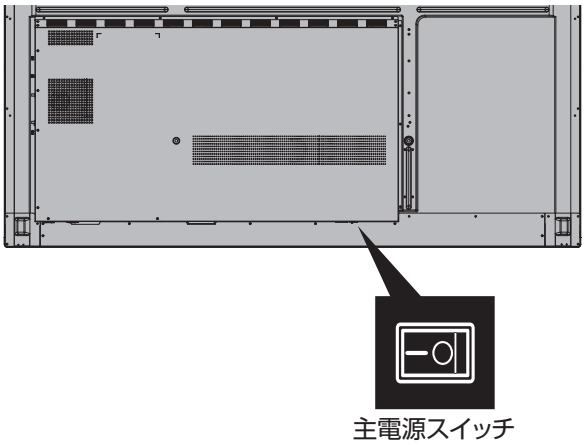
① 本体背面の主電源スイッチを（｜）側にします。

② リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを押します。

電源を切る

① リモコンの電源ボタンを長押しするか、前面パネルの電源ボタンを長押ししてシャットダウンします。

② 本体背面の主電源スイッチを（○）側にします。



注意

- 本体をシャットダウンする前に本体背面の主電源をオフにしないでください。

スタンバイモード

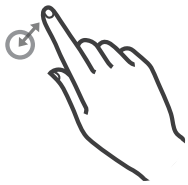
リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを押すと、画面が消えスタンバイモードになります。

タッチ操作

本機では、指や付属のペンでタッチ操作ができます。
Windowsのタッチ操作の詳細については、Windowsのヘルプなどをご確認ください。

おもなタッチ操作

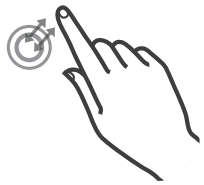
タップ（シングルタップ）



一度短くタッチします。

主な役割
- 項目やアイコンを選択
- Android OSでアプリを起動
- Windowsでマウスの左クリックの動作

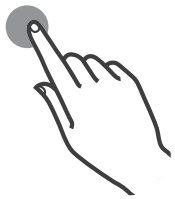
ダブルタップ



同じ場所をすばやく2回タッチします。

主な役割
- Windowsでマウスのダブルクリックの動作（ファイルを開くなど）

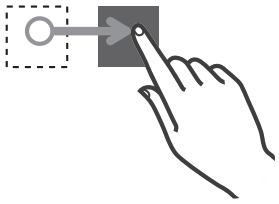
長押し



タッチしたまましばらく指を画面に触れたままにします。

主な役割
- Windowsで右クリックの動作

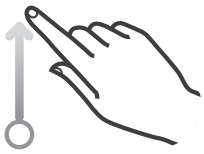
ドラッグアンドドロップ



アイコンやスライドをタッチしたまま画面から指を離さずに移動して、指定の地点で指を離します。

主な役割
- アイコンの移動
- スライドを動かす

スワイプ／フリック



画面にタッチしたまま指を移動します（スワイプ）。指をすばやく払うようにすると、フリックになります。

主な役割
- ページをスクロール
- 画面下中央部からスワイプ／フリックしてクイック設定メニューを表示

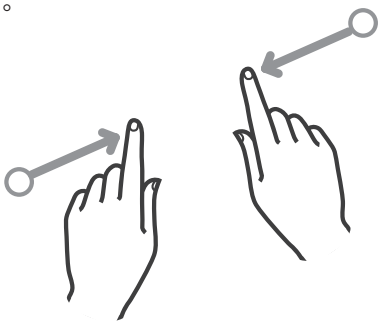
2点長押し

2点を同時に長押しします。

主な役割
- ポップアップメニューを表示（2点間の距離は2 ～ 5cm離してください）

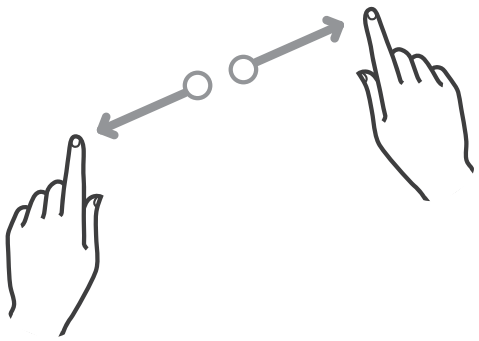
ズームイン

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を狭めます。



ズームアウト

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を拡げます。



注意！ 画面をタッチするときは、必ず指先か付属のタッチペンをお使いください。
ツメやボールペンなど先の尖ったものや固いものでタッチすると、液晶ディスプレイに傷がつくおそれがあります。

基本的な操作方法

ホーム画面

電源をオンにすると、最初に本機内蔵Androidのホーム画面が表示されます。

MIRAI NOTE	ホワイトボードのような使い方ができます。 → 27 ページ「ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）」
Finder	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN・FTPサーバー上のファイルを閲覧することができます。 → 31 ページ「ファイルを参照する（Finder）」
INPUT	クイック設定メニューを表示します。 → 44 ページ「クイック設定」
	アプリー覧画面を表示します。 →26 ページ「アプリー覧画面を開く」

	有線LANが繋がっている。		無線LANが接続している。
	有線LANが繋がっていない。		無線LANが有効になっているが、ネットワークに接続していない。
	USBメモリが電子黒板につながっている。	表示がない場合	無線LANが無効。

基本的な操作方法 (続き)

クイック設定メニュー

表示する画面を切り換えたり、画面の明るさや音量を調節できます。

→44 ページ「クイック設定」

表示方法

クイック設定メニューの表示方法は以下の4通りあります。

画面の下端中央からスワイプする

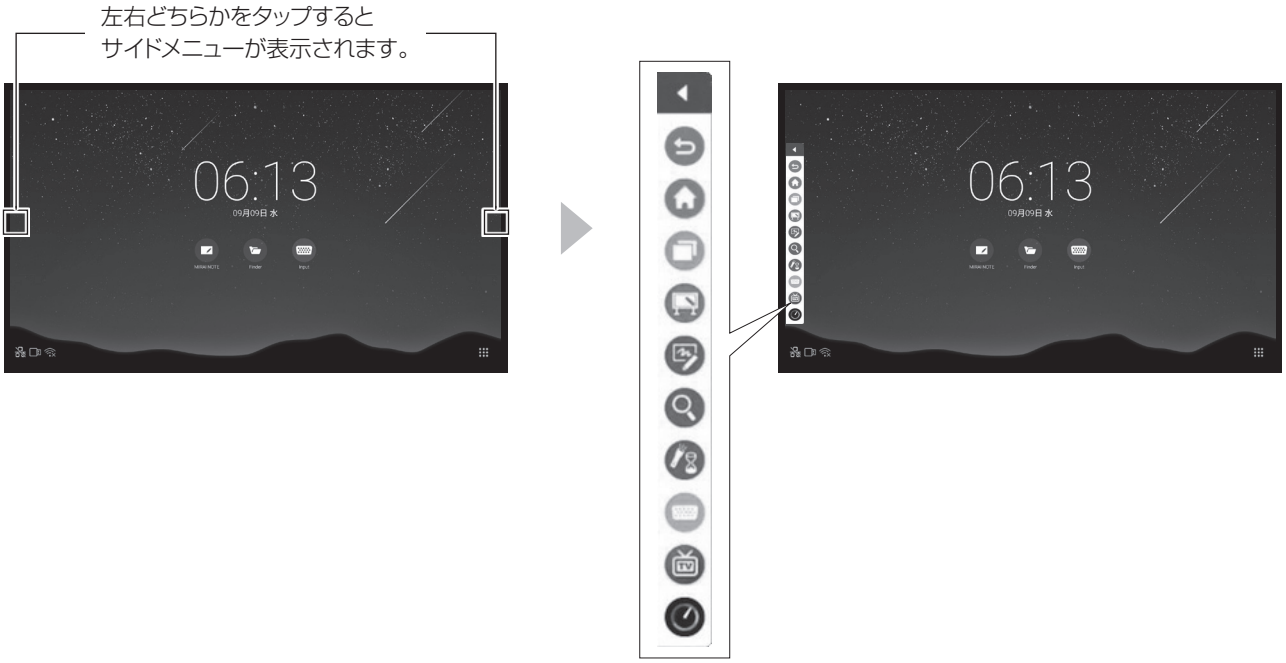
リモコンの入力切替ボタンを押す

映像入力している機器の映像を表示する

「クイック設定メニュー」の「全般設定」画面から切り換える機器のボタンをタップします。

サイドメニューを表示する

表示中の画面に注釈を入れたり、キャプチャーを撮ることができます。
詳細設定>その他の設定>設定（50ページ参照）で、サイドメニューを使用するか、ポップアップメニューを使用するかの選択ができます。（両方を同時に使用することはできません。）
初期設定ではサイドメニューを使用する設定になっています。



	1つ前の画面に戻ります。
	ホーム画面を表示します。
	開いているアプリに画面を切り換えることができます。
	MIRAI NOTEアプリを開きます。
	ペイントモードになり、画面をタッチして線を描くことができます。 タップすると、以下のサブメニューを表示します。

	タップごとにブラシの色を変更します。
	マーカーで線を描きます。
	描いた線をすべて消去します。
	画面のスクリーンキャプチャーを撮ります。 ペイントモードで描いた線も一緒に撮影されます。 撮影された画像は、本機「/Notes/Mark/［日付］」フォルダに保存されます。
	サブメニューを閉じます。

基本的な操作方法 (続き)

<table>
<tr><td> </td><td>画面を拡大／縮小表示します。</td></tr>
<tr><td> </td><td>ミニツールを開きます。
<table>
<tr><td> </td><td>画面の一部だけ表示して、他は見えなくします。
画面下の⚙をタップすると、スポットライトの大きさや透明度を変更できます。</td></tr>
<tr><td> </td><td>時間を設定し、カウントダウンします。</td></tr>
<tr><td> </td><td>ストップウォッチとして時間を計ります。</td></tr>
<tr><td> </td><td>質問や問題の回答を集計します。(40ページ参照)
※ 使用の際は、ネットワークに接続し（18 ページ参照）、同一ネットワークでの環境設定が必要です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td> </td><td>入力切り換え画面を開きます。</td></tr>
<tr><td> </td><td>テレビ視聴アプリを起動して地上デジタル放送を視聴します。
※ この機能を使用するには専用のテレビチューナーが必要になります。詳細につきましてはお買い上げいただきました販売店へお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td> </td><td>AC Timerのショートカットです。</td></tr>
</table>

ポップアップメニューを表示する

画面上を2点長押しすると、ポップアップメニューが表示されます。
表示中の画面に注釈を入れたり、キャプチャーを撮ることができます。
詳細設定>その他の設定>設定（50ページ参照）で、サイドメニューを使用するか、ポップアップメニューを使用するかの選択ができます。（両方を同時に使用することはできません。）
初期設定ではサイドメニューを使用する設定になっています。

	1つ前の画面に戻ります。
	アプリメニューを表示します。
	ペイントモードになり、画面をタッチして線を描くことができます。
	ホーム画面を表示します。

	詳細設定画面を開きます。
	カメラアプリを開きます。
	Finderアプリを開きます。
	MIRAI NOTEアプリを開きます。

基本的な操作方法 (続き)

アプリー覧画面を開く

ホーム画面で右下のアイコンをタップすると、アプリー覧画面が表示されます。

アプリの説明

カメラ	本機に接続されたUSBカメラの映像を表示します。 →34 ページ「USBカメラを使う (カメラ)」	Finder	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN・FTPサーバー上のファイルを閲覧することができます。 →31 ページ「ファイルを参照する (Finder)」
テレビ	テレビ視聴アプリを起動して地上デジタル放送を視聴します。 ※ この機能を使用するには専用のテレビチューナーが必要になります。詳細につきましてはお買い上げいただきました販売店へお問い合わせください。	Keeper	メモリを最適化します。
ブラウザ	インターネットブラウザを起動して、Webページを閲覧します。 →33 ページ「ウェブページを見る (ブラウザ)」	MIRAI NOTE	ホワイトボードのような使い方ができます。 →27 ページ「ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)」
AC Timer	タスク管理ができるタイマーアプリケーションです。	ScreenLock	画面をロックし、パスワードを知らない人が操作できないようにします。
Cloud Drive	本機にクラウドストレージサービスのアカウントを登録します。 登録すると、MIRAI NOTEのデータを簡単にクラウドへアップロードすることができるようになります。	WPS Office	Micorosoft Officeファイルやpdfファイルを開くことができます。
Dr.Web	ウィルス対策をすることができます。 →36 ページ「アンチウイルス機能 (Dr.Web Security Space)」	ScreenShare Pro	ワイヤレスミラーリングソフト 同一ネットワーク内の端末の画面を電子黒板に映すことができます。

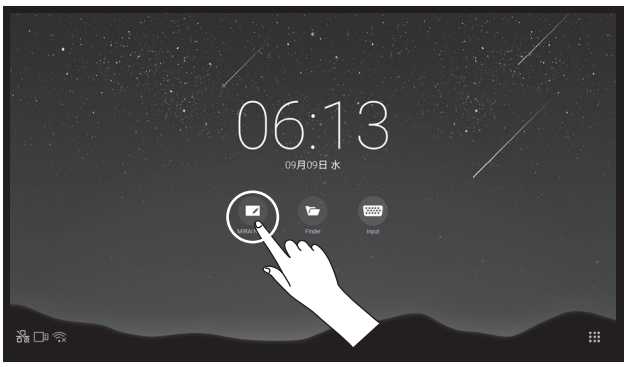
※ 上記、未記載のアプリケーションについては、各アプリケーション事業者が提供する取扱説明書もしくはWebサイトをご確認ください。

ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）

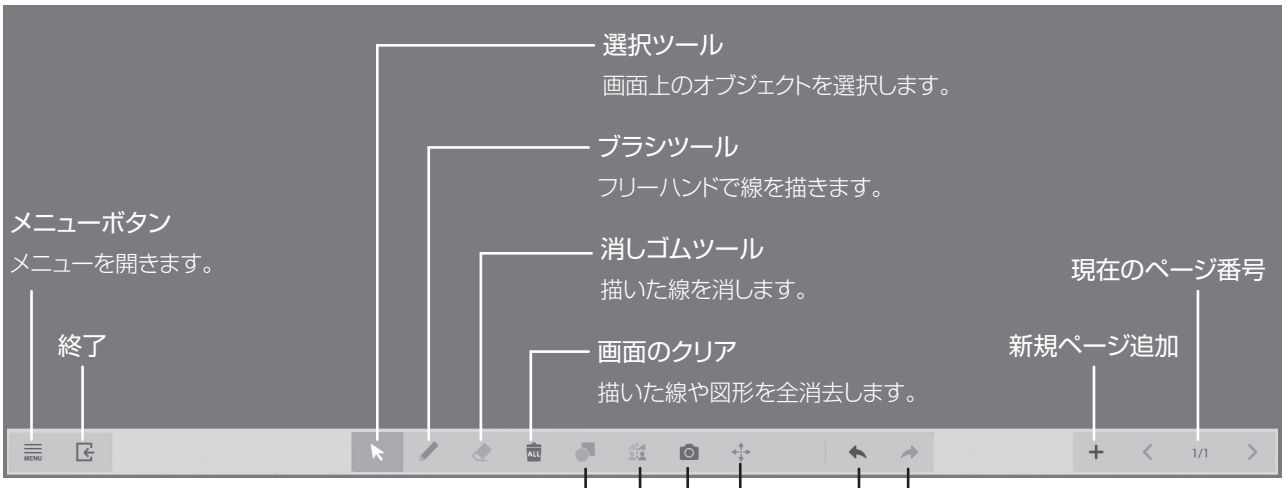
画面上をなぞることで、ホワイトボードと同じように線を描けます。
10点まで同時にタッチを感知できます。
描いた画は保存することができます。

起動方法

ホーム画面から「MIRAI NOTE」アプリをタップします。



画面説明



選択ツール
画面上のオブジェクトを選択します。

ブラシツール
フリーハンドで線を描きます。

消しゴムツール
描いた線を消します。

画面のクリア
描いた線や図形を全消去します。

メニューボタン
メニューを開きます。

終了

現在のページ番号

新規ページ追加

図形ツール
さまざまな形の図形を描きます。

2人同時書き込みモード
2人同時に書き込んだり、消したりすることができるモードに切り替えます。
（30ページ参照）

書画カメラモード
本機に接続しているUSBカメラの映像に切り替えます。
（34ページ参照）

やり直し
元に戻した操作を取り消します。

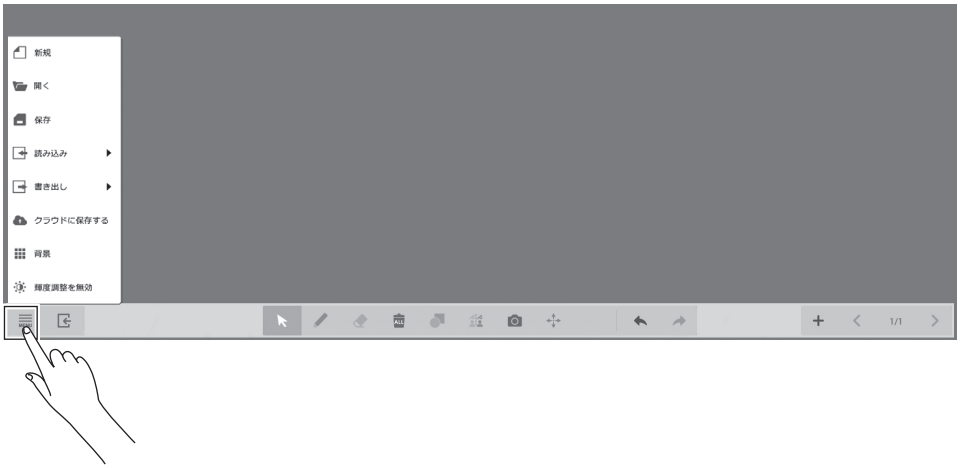
元に戻す
直前の操作を元に戻します。

表示範囲移動ツール
ドラッグで表示範囲を移動することができます。

ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）(続き)

メニューについて

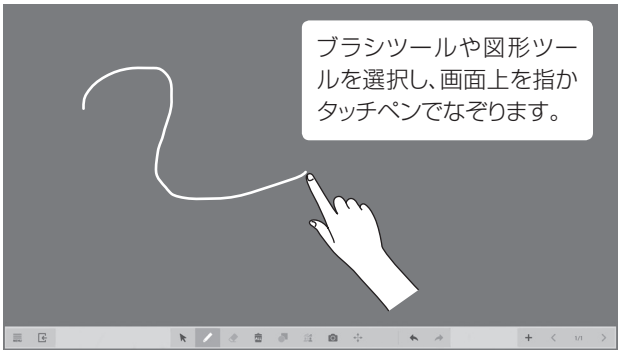
メニューボタンをタップすると、以下のメニューが表示されます。

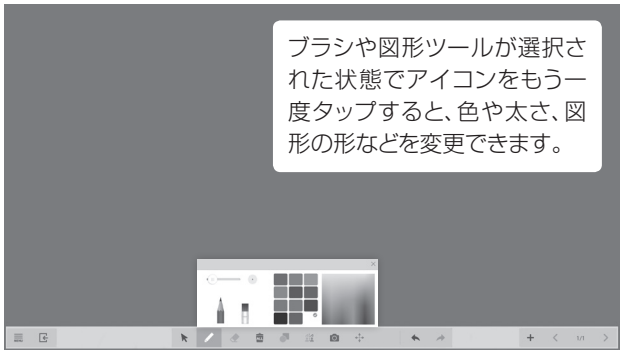


新規	新規ファイルを開きます。
開く	ファイルを開きます。
保存	データを保存します。
読み込み	ファイルを読み込んで、ボードに貼り付けます。 ヒント 動画ファイルを選ぶと、全画面で動画が再生されます。 再生中にアイコンをタップすると、動画のキャプチャー画像をボードに貼り付けることができます。
書き出し	以下の形式でデータを書き出します。 ファイル形式：拡張子 イメージデータ：.png、.jpg、.bmp PDFファイル：.pdf SVGファイル：.svg IWBファイル：.iwb
クラウドに保存する	データを「Cloud Drive」アプリで登録したクラウドサービスに保存します。
背景	背景を変更します。
輝度調整を無効	輝度調整の有効・無効の調整をします。 標準設定は無効です。

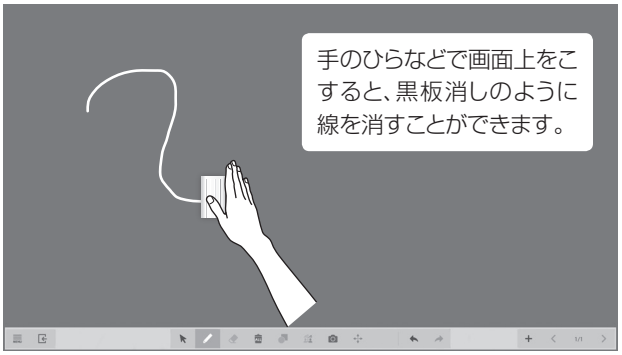
描く、消す

線や図形を描く



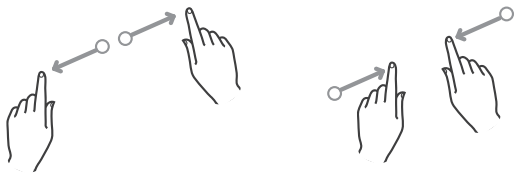


線を消す

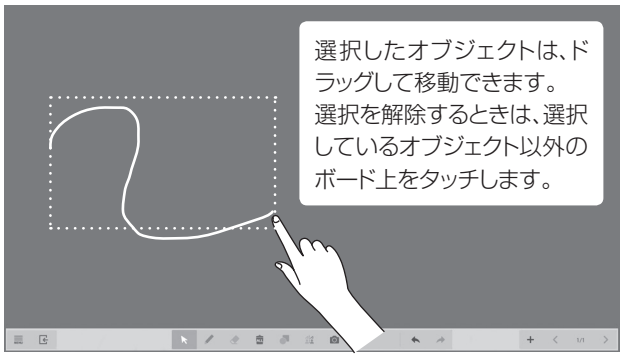


ヒント

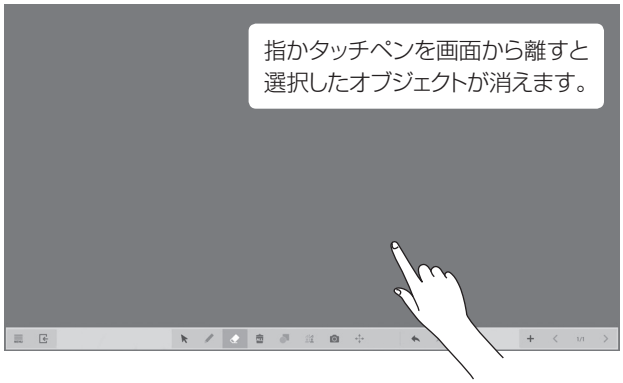
タッチ操作でズームイン/ズームアウトできます。



選択モード



消しゴムモード



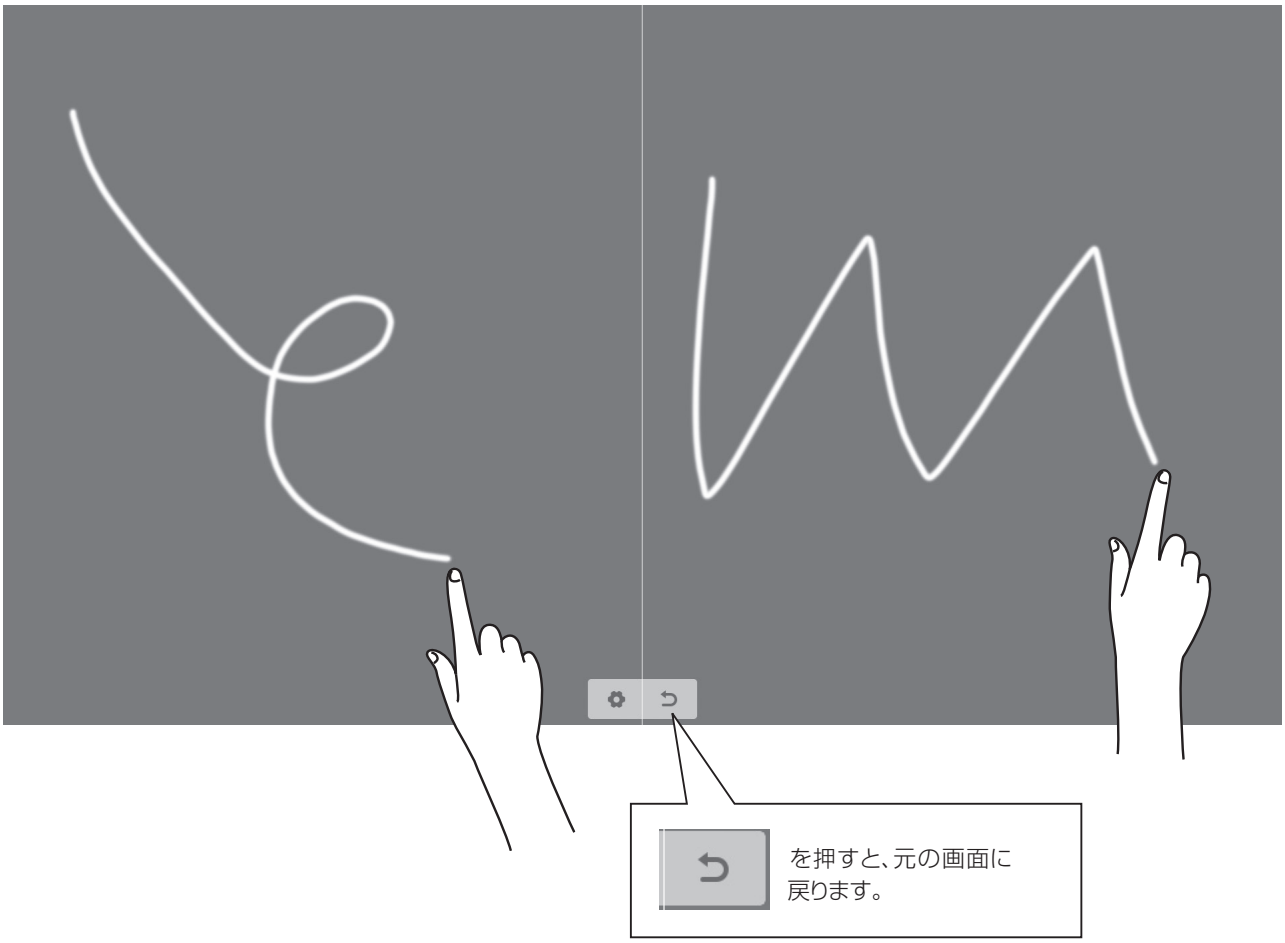
ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）(続き)

2人同時書き込みモード

2人同時書き込みモードにすると、2人が同時に書き込んだり、線を削除することができます。

アイコンをタップします。

同時書き込みモードに切り替わります。



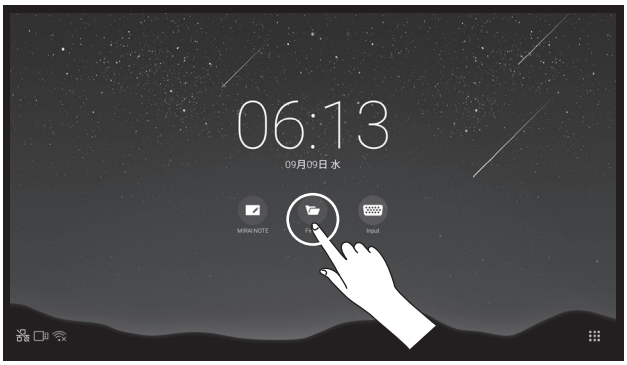
を押すと、元の画面に戻ります。

ファイルを参照する（Finder）

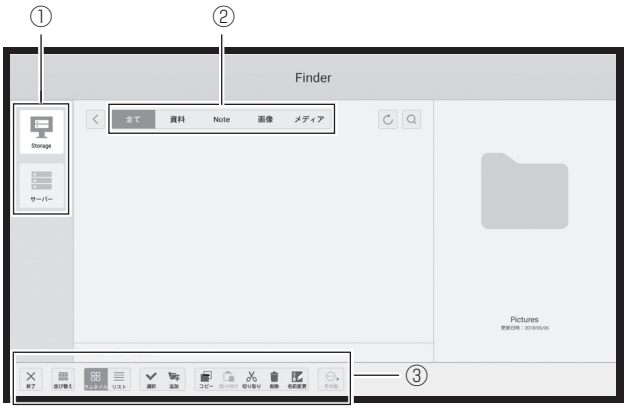
本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN・FTPサーバー上のファイルを閲覧することができます。

起動方法

ホーム画面から「Finder」アプリをタップします。



操作方法



ヒント

オフィスタイプのファイルを開いたときは、以下のいずれかの方法で元の画面に戻ることができます。

- 2点長押ししてポップアップメニューを出し、↩ をタップ。
- 前面パネル部の ↩ ボタンを押す。

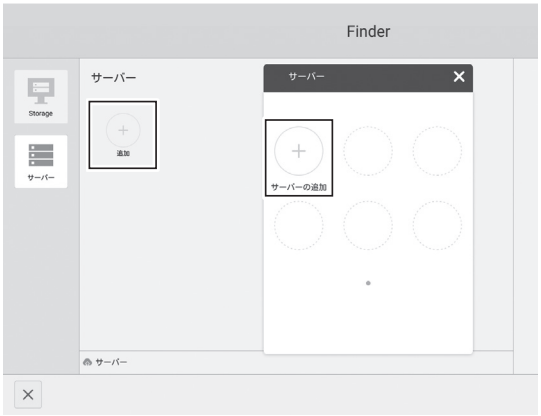
①	ファイルを参照する場所を選択します。	
	Storage	本機内にあるファイルを表示します。
	サーバー	FTPサーバーやLAN内のファイルサーバー（Samba接続）を表示します。（32ページ参照）
	USB	本機に接続しているUSBメモリのファイルを表示します。
②	表示するファイルの種類を選択します。	

③	終了	Finderを終了します。
	並び替え	ファイルの並び替えをします。 （名前/種類/サイズ/日時）
	サムネイル / リスト	サムネイル表示とリスト表示を切り換えます。
	選択	ファイル選択モードになります。 選択モード中は以下のアイコンが表示されます。
	コピー	ファイルのコピー
	貼り付け	ファイルの貼り付け
	切り取り	ファイルの切り取り
	削除	ファイルの削除
	名前変更	ファイル名の変更
	その他	その他
	追加	フォルダを追加します。

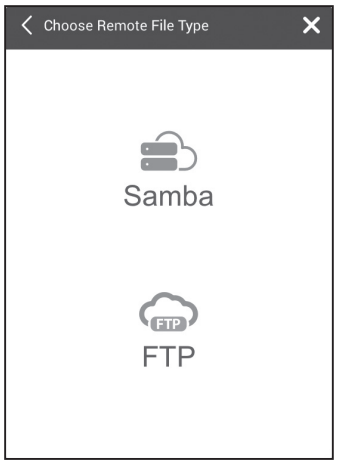
ファイルを参照する（File）(続き)

サーバーへの接続方法

1. 「サーバー」を選択すると、右の画面が表示されますので、「追加」「サーバーの追加」の順にタップします。



2. Samba接続（LAN内のファイルサーバーの場合）かFTP接続かを選択します。



3. サーバー情報を入力し、「OK」をタップします。

● 「Server」のフォルダ区切り文字は「/（スラッシュ）」を使用してください。
例）192.168.179.7/share

Samba接続

FTP接続

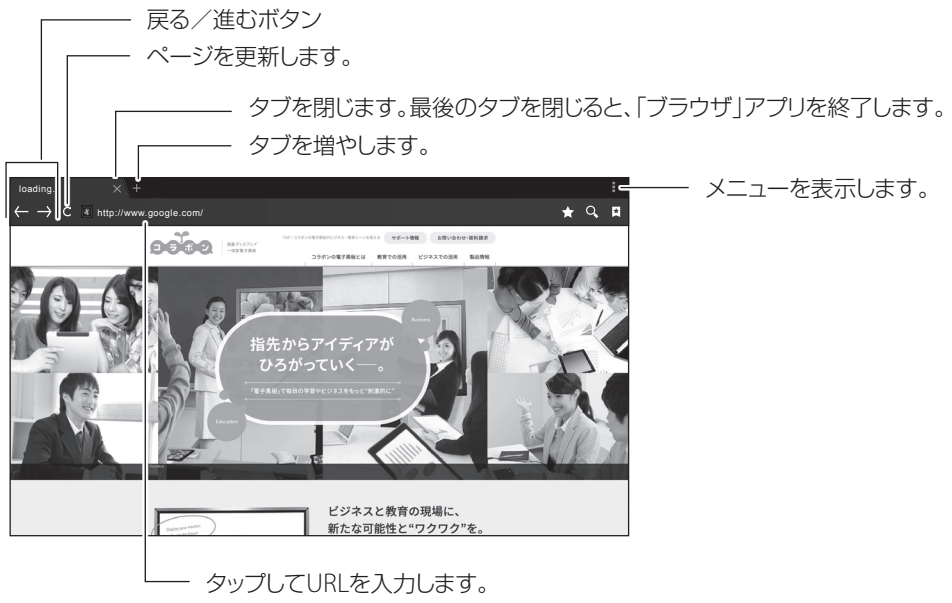
ウェブページを見る（ブラウザ）

ウェブページを見るためにはインターネットに接続している必要があります。

起動方法

アプリ一覧画面から「ブラウザ」アプリをタップします。

操作方法



ホーム画面に戻るときは、リモコンかサイドメニュー、ポップアップメニューのホームボタンを押してください。

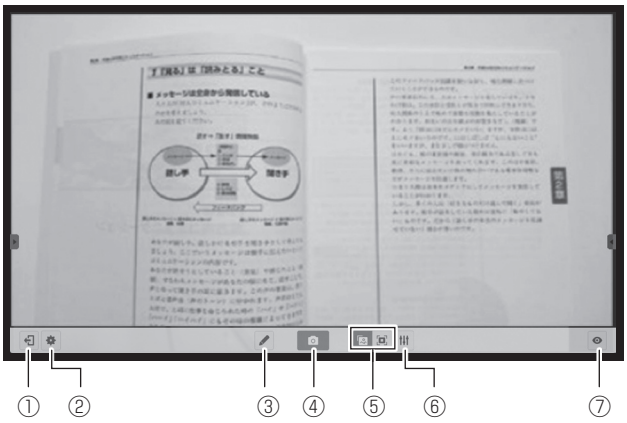
USBカメラを使う（カメラ）

USBカメラを本体に接続し、カメラの映像を本機に映し出したり、撮影することができます。

起動方法

アプリー覧画面から「カメラ」アプリをタップします。

操作方法



①	カメラを終了します。
②	解像度を設定します。
③	ペイントツールを開きます。
	タップごとにブラシの色を変更します。
	マーカーで線を描きます。
	描いた線をすべて消去します。
	画面のスクリーンキャプチャーを撮ります。 ペイントモードで描いた線も一緒に撮影されます。 撮影された画像は、本機「/Storge/VideoPresenter/Photograph/[日付]」フォルダに保存されます。
	サブメニューを閉じます。
④	スクリーンキャプチャーを撮ります。

<table>
<tr><td>⑤</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>画面を拡大／縮小します。</td></tr>
<tr><td></td><td>全画面表示になります。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>画面設定を開きます。
<table>
<tr><td>サイズ</td><td>フルスクリーンとオートズームを切り換えます。</td></tr>
<tr><td>拡大／縮小</td><td>画面を拡大／縮小します。</td></tr>
<tr><td>回転</td><td>画面を右または左に90°回転させることができます。</td></tr>
<tr><td>モード</td><td>被写体の種類によって最適な表示になるように、モードを切り替えます。
N：普通モード　T：文字モード　P：写真モード</td></tr>
<tr><td>詳細設定</td><td>「輝度」「コントラスト」「色調」「シャープ」を調整します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>比較モード画面を開きます。

</td></tr>
</table>

アンチウイルス機能（Dr.Web Security Space）

本機にあらかじめインストールされている「Dr.Web」アプリを使用して、ウイルス対策をすることができます。

起動方法

アプリー覧画面から「Dr.Web」アプリをタップします。

「Dr.Web」アプリが起動します。

アンチウィルス機能は以下の機能があります。

- スキャナ
- URLフィルター
- Firewall
- Security Auditor

詳しい機能については、製品ホームページに掲載されている情報をご覧ください。

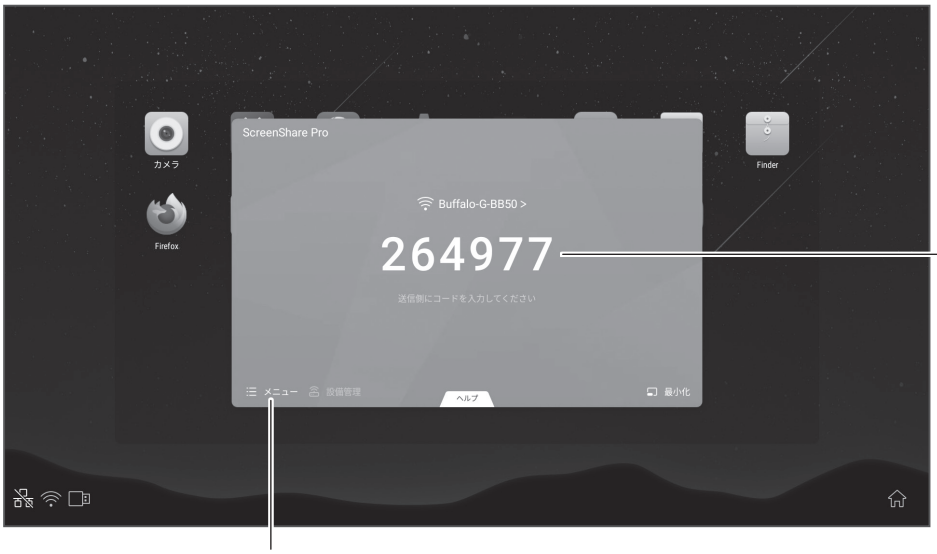
ワイヤレスミラーリングソフト（ScreenSharePro）

同一ネットワーク内の端末の画面を電子黒板に映すことができます。

起動方法

アプリ一覧画面から「ScreenShare Pro」アプリをタップします。

「ScreenShare Pro」アプリが起動します。



端末にScreenShare Proアプリをインストールし、接続番号を入力すると、本機の画面が端末に表示されます。

ワイヤレスミラーリングソフト（ScreenSharePro）(続き)

メニュー

「メニュー」をタップすると、以下のメニューが表示されます。

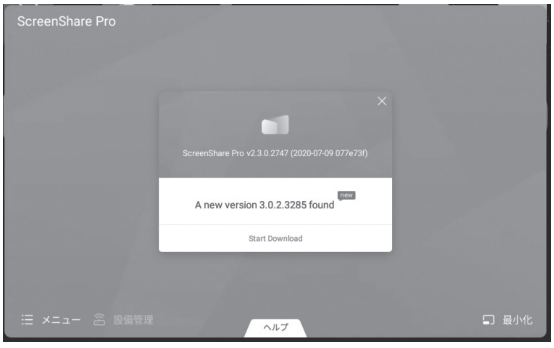
① 設定

接続条件を設定します。

② 認証

アクティベーションコードはお求めの代理店にお問い合わせください。

③ About



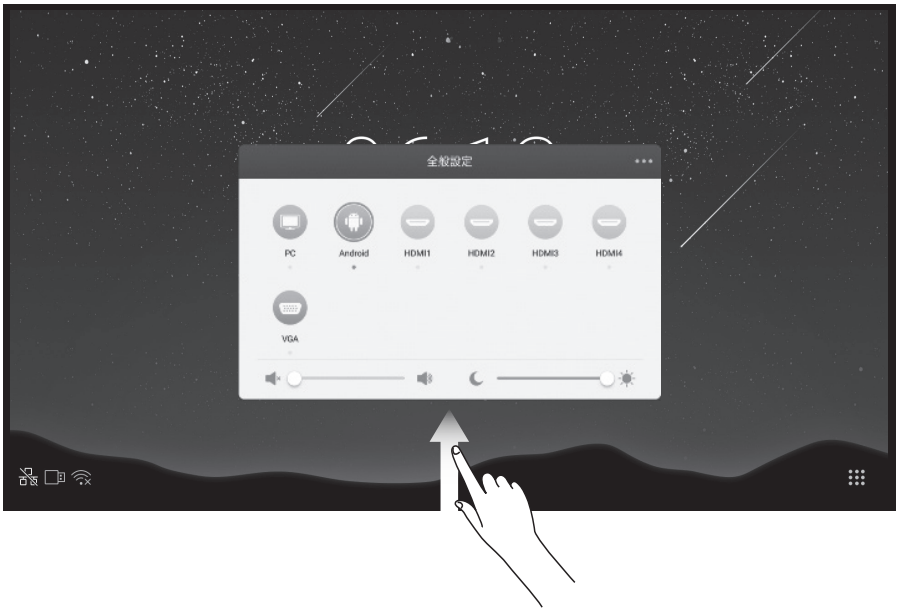
お問い合わせ時に必要な情報です。

画面を切り換える

本機に映像入力している機器の画面の切り換えをおこないます。

起動方法

画面の下端中央からスワイプしてクイック設定メニューを表示させます。



操作方法

画面や音の設定画面を開きます。
（45ページ参照）

画面に表示するソースを選択します。

音量を調節します。

画面の明るさを調節します。

Air Class機能

「Air Class」機能を使うと、子機の端末から回答を集計したり、本機上で表示することができます。
子機は最大26台まで接続することができます。

起動方法

1. ホーム画面からサイドメニューを表示させ、 をタップします。

2. サブメニューが表示されるので、「AirClass」をタップします。

AirClassのメニューバーが表示されます。

- 本機にアクセスしている子機全員から回答を受け付けます。
- 画面下部に回答が表示されます。
- 回答者を早押し形式で募ります。
- Air Classを終了します。
- 本機にアクセスするためのQRコードを表示します。
- 子機側からのコメントの表示/非表示を切り替えます。
- オンラインクラスからランダムに回答者を選択することができます。

子機から本機にアクセスする

Air Class機能を使用するときは、子機のインターネットブラウザから本機にアクセスする必要があります。
子機の端末には、パソコンやタブレット、スマートフォンなどをお使いいただけます。

1. 接続する子機を本機と同じネットワークセグメント内に接続します。

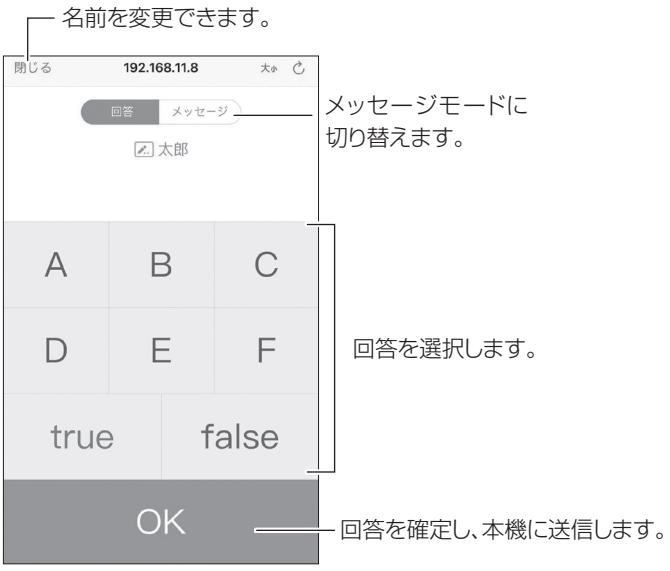
2. 本機に表示されているAirClassメニューバーの「マネージャ」をタップします。

3. 本機にQRコードが表示されるので、接続したい子機でバーコードを読み取るか、画面記載のアドレスをインターネットブラウザのアドレス欄に入力し、ページに移動します。（例：http://197.168.179.2:4860）

子機側で「ようこそ」と表示されれば、アクセスは完了です。

4. 子機を操作して、名前を入力し、「確定」ボタンを押します。

子機側の操作画面について



Air Class機能（続き）

使用方法

子機全員から回答を受け付ける

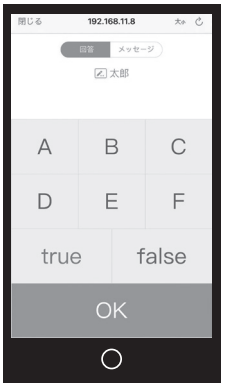
1. AirClassメニューバーの「投票者」をタップします。

2. 「開始」をタップします。

ボタンが「完了」に変わり、子機からの回答受付を開始します。

子機側の操作

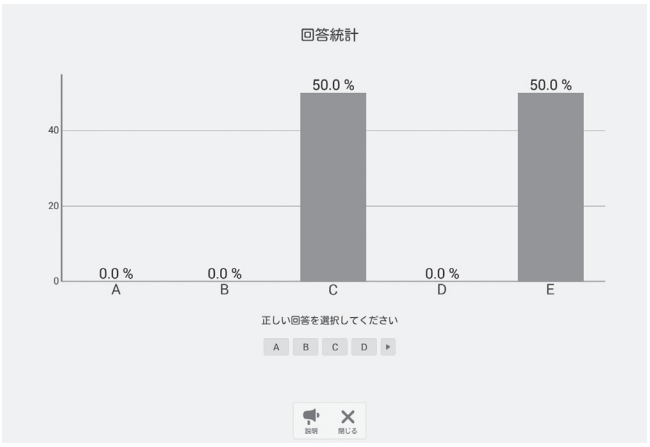
回答を選択し、[OK]を押して本機側へ送信します。



子機からの回答が来ると、名前が表示されます。

3. 「完了」をタップして回答を締め切ります。

回答を締め切ると、集計画面が表示されます。



早押し形式で回答を受け付ける

1. AirClassメニューバーの「回答者」をタップします。

太鼓の音が鳴り、回答を募ります。

太鼓の音が鳴っている間、子機側で「OK」を押すと、回答権を得られます。

2. 回答者が決まると、「選んでください」と表示されるので、子機側で回答します。

設定する

クイック設定

表示する画面を切り換えたり、画面の明るさや音量を調節できます。

起動方法

画面下端中央部分からスワイプ

または

リモコンの入力切替ボタンを押す

全般設定

画面や音の設定画面を開きます。
（45ページ参照）

画面に表示するソースを選択します。

音量を調節します。

画面の明るさを調節します。

画面・音の設定

「オーディオ」設定

各プリセットごとに音量やバランスを調節します。

「スクリーン」設定

映像入力画面のアスペクト比を切り換えます。

「表示」設定

各プリセットごとに画質を調節します。

「調整」設定

映像入力画面の画質を調整します。

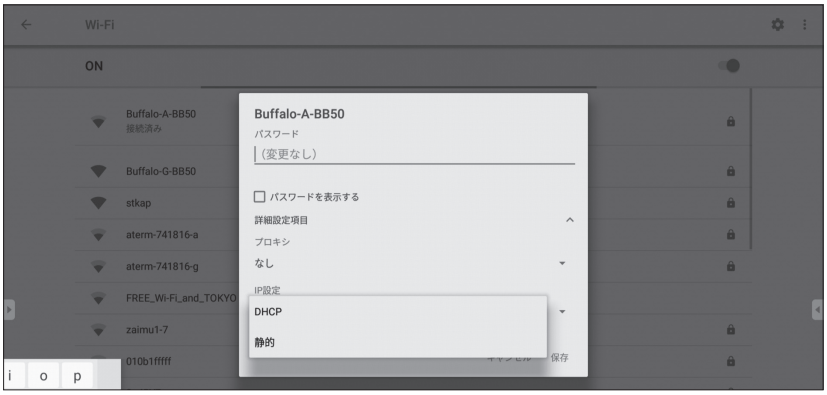
設定する（続き）

詳細設定

ネットワークや言語の設定など、より細かい設定をすることができます。

無線とネットワーク

■ Wi-Fi



ON/OFF	Wi-Fi接続のオン/オフを切り換えます。

詳細設定項目	プロキシ	プロキシサーバを設定します。
	IP設定	IPアドレス設定を切り替えます。

■ イーサネット（有線）

ポータブルWi-Fi アクセスポイント	アクセスポイント利用の有無を設定します。
Wi-Fiアクセスポイント をセットアップ	アクセスポイントを設定します。

■ ワイヤレス・ホットスポット

証明書の インストール	証明書が必要な場合、ファイルを選択します。
MACアドレス	使用している機器のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	使用している機器のIPアドレスが表示されます。

■ Bluetooth

Bluetooth機器を接続します。

■ もっと見る

本機では使用しません。

設定する（続き）

共有する

■ SAMBA Service

本機では使用しません。

端末

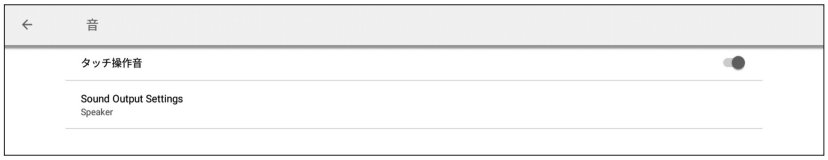
■ ディスプレイ

壁紙の設定	壁紙を設定します。
外部リソース表示設定	HDMI 出力暗号化設定のオン/オフを切り替えます。

■ ストレージ

本機では使用しません。

■ 音



タッチ操作オン	チェックすると、タップ時に操作音が鳴るようにします。

■ アプリ

本機では使用しません。

ユーザー設定

■ セキュリティ

本機では使用しません。

■ 言語と入力

言語	表示言語を設定します。
キーボードと入力方法	それぞれ使用するキーボードを選択したり、設定をおこないます。

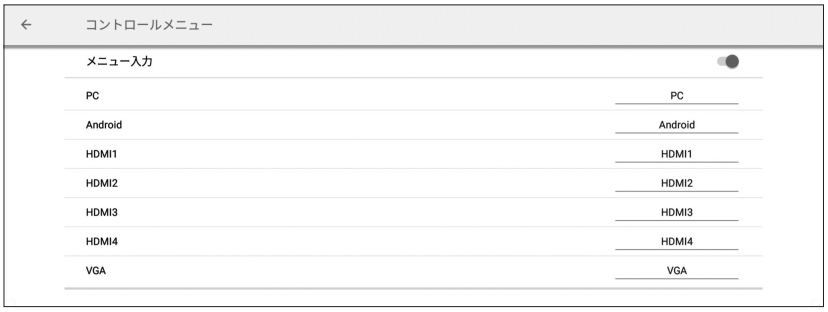
■ 起動・シャットダウン設定

優先起動の設定	電源を入れたときに表示する画面を設定します。 前回のオフチャンネル：前回電源をオフにしたときの画面を表示します。 優先チャンネル選択：電源をオンにしたときに表示する入力ソースを選択します。
内蔵PC起動オプション	内蔵PCを起動するタイミングや起動後の状態を設定します。
電源オフ時の確認メッセージ表示を無効	詳細設定メニューを表示します。
オン・オフオプション	オンタイマーとオフタイマーを設定します。

■ パスワード

[設定]をタップして、パスワード（4桁）を設定します。

■ コントロールメニュー

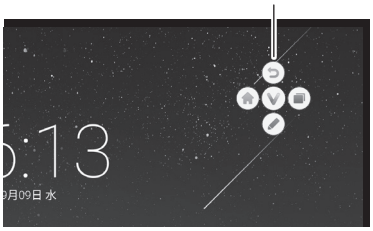


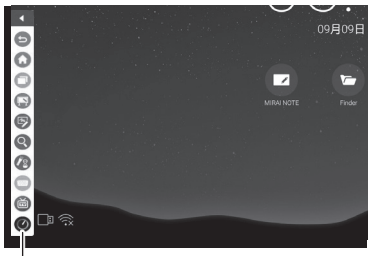
入力切替画面（→39ページ）で表示する入力機器名を設定することができます。

設定する（続き）

■ その他の設定

ユニバーサル・システムツールバー



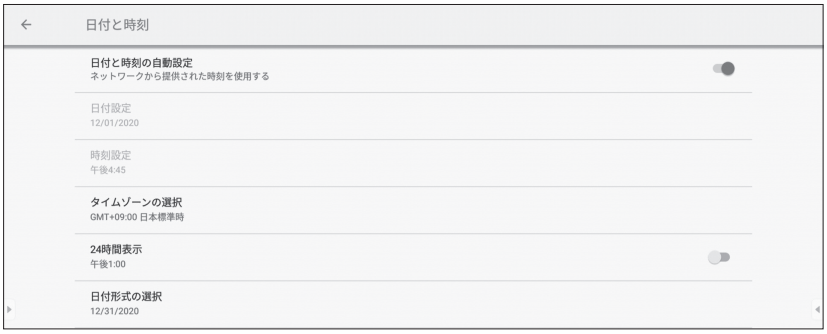


スライド式ツールバー

設定	メニューの表示方法を切り替えます。 スライド式ツールバー：サイドメニュー方式のメニューです。サイドメニューは画面両端の▶をタップすると表示されます。 ユニバーサル・システムツールバー：ポップアップ方式のメニューです。画面上を2点長押しするとメニューが表示されます。
システムドックのチャンネル設定	表示するチャンネルを設定します。
Note書き込み設定	シングルタッチ認識とマルチタッチ認識を切り換えます。

システム

■ 日付と時刻



日付と時刻の自動設定	チェックすると、ネットワークから自動的に時刻を取得し、時計を合わせます。
日付設定	「日付と時刻の自動設定」にチェックを入れていないときに、日付を手動で設定します。
時刻設定	「日付と時刻の自動設定」にチェックを入れていないときに、時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
24時間表示	時刻を[13:00]のように表示するか、[1:00 PM]のように表示するか選択します。
日付形式の選択	日付の表示形式を選択します。

■ タブレット情報

本機では使用しません。

■ System Settings

本機では使用しません。

故障かなと思ったら

正常に動作しない

症状	対策
リモコンがうまく動作しない	リモコンとリモコン受信部の間に遮へい物があって、電波が届かなくなっていないかどうか確認する。
	リモコン受信部に向けてリモコンを操作する。
	リモコンの電池が+ ー正しい向きで入っているかどうか確認する。
	リモコンの電池残量があるか確認する。
本機が自動的にシャットダウンする	PCユニット搭載モデルの場合は、本機内蔵のWindowsがスリープ状態になっていないか確認する。
	停電になっていないか確認する。
	自動シャットダウンの制御信号が送られていないか確認する。

映像入力した機器の画面がうまく表示されない

症状	対策
画面に「信号無し」と表示される	ケーブルが正しく接続されているか確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
背景に縦線や筋が出る	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	本機の周囲に他の電子機器や電気製品があるかどうか確認する。 → 他の機器から電波の影響を受けることがあります。他機器から離したり、位置を変えてみてください。
画像に色がない、または色が正しくない	VGA端子が確実に接続されているか、コネクタに問題がないか確認する。
	クイック設定メニューの「画面」設定で「輝度」、「コントラスト」、「色調」、「鮮明度」を調整する。
その他映像が乱れる	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。

音が出ない

症状	対策
画像も音声も出ない	本機の電源がオン（｜）になっているか、あるいはスタンバイモードになっていないかを確認する。
	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
	PCモードの場合は、本機内蔵Windowsまたは接続しているPCが起動しているか確認する。
映像は出るが音が出ない	リモコンの消音ボタンを押して、ミュートになっていないか確認する。
	リモコンあるいは本機フロントパネルの音量調節ボタンで音量を調節する。
	音声ケーブルが正しく接続されているかどうか確認する。 →VGA接続の場合、音声はVGAケーブルとは別にヘッドフォンケーブルで接続する必要があります。

故障かなと思ったら（続き）

片方のスピーカーからしか音が出ない	音声ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	クイック設定メニューの「オーディオ」設定で音声バランスを調整する。
	PCモードの場合は、PCのサウンド設定を確認する。

タッチ操作がうまくできない

症状	対策
タッチが認識されない・正常に認識されない	タッチ機能が無効になっていないか確認する。 →リモコンの赤・黄ボタンを一回押してタッチできるか確認します。
	タッチした部分のサイズが指のサイズに比べ小さすぎないか確認する。
	タッチペンのペン先に異常がないか確認する。
	接続しているPCのタッチ操作が認識されない場合 ・本機のタッチ端子とPC側のUSB端子が付属のUSBケーブルで接続されているか確認する。 ・タッチドライバが正常にインストールされ、ソフトウェアが起動していることを確認する。

お手入れ方法

長くお使いいただくために定期的にお手入れをしてください。
クリーニングおよびメンテナンスの前には、感電防止のため電源プラグを抜いておいてください。

注意！

- お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることがあります。
- 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 画面を強くこすったり、固い布で拭くと、液晶ディスプレイの表面に傷がつくおそれがあります。

液晶ディスプレイやキャビネットのお手入れ
乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

長期間使用しない場合

本機を長時間使用しない場合は、必ずプラグを抜いてください。

仕様

モデル名		M65CE2S
電源入力		AC 100V 50/60Hz
消費電力	通常	180W(オプション未装着時)
	スタンバイ時	0.5W未満
使用環境条件	温度	0℃～ 40℃
	湿度	10% ～ 90%（結露がないこと）
音声出力		左/右：16W+16W　サブウーファー：20W
VESA規格		600×400 (mm)
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）		1489×897×87(mm) 梱包時：1628×1005×208(mm)
質量		39.7kg　梱包時：50.4kg
ディスプレイ		
サイズ		65型
画面寸法（幅×高さ）		1428.48 × 803.52 (mm)
画素数（水平×垂直）		3840 × 2160
輝度		450 cd/m^2
コントラスト比		4000 : 1
応答速度		8ms
表示色		約10.7億色
視野角		左右178度／上下178度
タッチシステム	マルチタッチ	最大20点マルチタッチ（赤外線遮断検出方式）
	接続端子	USB 2.0 Full Speed
	保護ガラス	4.0mm厚強化ガラス
本体端子		
入力端子	VGA	15pin mini D-Sub×1
	HDMI	HDMI TYPE Aコネクタ×4
	AUDIO	3.5Φステレオミニジャック×1
出力端子	HDMI	HDMI TYPE Aコネクタ×1
	COAX	デジタル出力端子（S/P DIF）×1
	AUDIO	3.5Φステレオミニジャック×1
USB端子	USB 2.0	USB 2.0 Aタイプ×3
	USB 3.0	USB 3.0 Aタイプ×3
	TOUCH	USB Bタイプ×3
シリアル端子	RS232	D-SUB9ピン（RS232）×1
LAN端子	LAN	RJ45×1

※ M65CE2SはUSB3.0による書画カメラの4K画質には未対応です。Full HDには対応しています。

※ 本仕様は2021年2月1日現在のものです。仕様は予告なく変更する場合がございます。

MEMO

アフターサービス

製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買い上げの日から1 年間です（ただし、光源のLED バックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。
保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。
修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。
製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かなと思ったら」をお読みいただき、それでも直らないときは、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社相談窓口にご連絡ください。
大変危険ですので、ご自分で修理はしないでください。

保証期間中は

保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理可能な製品については、ご要望により有料にて修理致します。
お買い上げの販売店または弊社相談窓口にご相談ください。
修理ご依頼のときは、製品名、ご氏名、ご住所、電話番号、お買い上げ日、故障の内容（具体的に）をご連絡ください。

修理料金について

修理料金は、[技術料]+[部品代]+[出張料]+［輸送料］で構成されています。

商標について

- さつきおよびロゴは、さつき株式会社の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国および他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- Android OSは、Google LLCの商標です。
- DisplayPort はVideo Electronics Standards Association の登録商標です。
- Dr.WEBはDr.web Ltd.の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お客様ご相談窓口 故障したとき・修理のご依頼など

0120-261-271 （フリーダイアル）

受付時間　9:00 ～ 17：00（月～金）
祝祭日、夏季、年末年始および弊社指定休業日を除く

さつき株式会社

〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番29号

Ver.G

©SATSUKI CO., LTD.